

会長のページ 宮崎大学医学部附属病院救命センター

逆搬送体制構築への協力をお願い	稲倉 正孝	3
日州医談 医療事故死と医療法第 21 条	濱田 政雄	4
随 筆 高村智恵子をめぐって	友成 久雄	6
エコー・リレー(447)	池田 徳郎, 伊木 秀郎	10
メディアの目 どうなるシンボル樹	赤崎 公一	17
国公立病院だより(県立延岡病院)	楠元志都生	18
宮崎大学医学部だより(感覚運動医学講座皮膚科学分野)	天野 正宏	20
専門分科医会だより(東洋医会)	川越 宏文	21
診療メモ 学校における運動器検診の役割と実際	帖佐 悦男, 山本恵太郎, 山口 奈美	72

ベストセラー	9
あなたできますか?(平成 23 年度医師国家試験問題より)	11
宮崎県感染症発生動向	14
各種委員会(学術生涯教育委員会, 健康教育委員会)	23
平成 24 年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会	25
第 56 回九州ブロック学校保健・学校医大会, 平成 24 年度九州学校検診協議会(年次大会)	29
全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会	33
薬事情報センターだより(306) 医薬品安全性情報	35
日医インターネットニュースから	36
理 事 会 日 誌	38
県 医 の 動 き	44
追悼のことば	46
会員の異動・変更報告	50
ドクターバンク情報	53
行 事 予 定	57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
あ と が き	78

お知らせ 「宮崎県医師会勤務医住宅ローン」の融資利率改定について	22
カット, イラストの募集	24
宮崎県医師会医療情報コーナー	28
平成 24 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	32
「新春随想」原稿募集	45
女性医師メーリングリストのご案内	51
みやざきメディカルトライアングル通信	52
県医師会在宅医療協議会入会のご案内	75
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ	75
郡市医師会への送付文書	76
ご 案 内 第 11 回九州医師会総会・医学会	12

医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 絵画〕

静物

ほんの数年前、全くの偶然から絵画教室に通うようになり、それまでは全然関心の無かった絵画に大変興味を持つようになりました。花瓶と果物を配置しましたら落ち着いた雰囲気でしたので、作品にしてみました。この度、日州医事の表紙を飾らせていただき、身に余る光栄です。これからも精進していきたいと思います。

宮崎市 黒川基樹

会長のページ

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター
逆搬送体制構築への協力をお願いいな くら まさ たか
稲 倉 正 孝

宮崎県では、平成 25年度より始まる第 6 次医療計画を策定中であるが、十分な救急医療提供体制が確保できていないのが現状である。限られた医療資源で、県民に最善の医療を提供するためには、県市町村行政、初期・二次・三次救急医療機関、回復期・維持期を担当する医療機関・介護施設等の連携・協力が必須である。

今年 4 月に、大学附属病院に専用病床 20 床の救命救急センターが設置され、4 月 19 日からドクターヘリの運航が始まり、三次救急医療機関としての本格的な稼働が始まった。11 月 2 日に開催された 1 回目の宮大救命救急センター逆搬送体制構

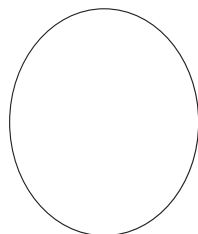
築協議会で落合秀信センター長から約 6 か月間の診療実績が報告された。救命救急センターにおける 4 月 10 日～ 10 月 20 日までの入院患者総数は 393 名で、うち転院患者は 13 名（34.9%）であった。ドクターヘリ搬送患者数は 3 名で、全員紹介元医療機関等に受け入れていただいております。順調な運営が行われているとのことであった。入院患者の傷病名は多発外傷、脳血管障害、消化管出血等が多く、平均在院日数は 9 日間であった。

救命救急センターの 20 床という限られた病床は効率よく利用する必要がある。重装備の医療機関に急性期を脱した患者が残って、重症な救急患者が入院できないような事態になれば、センターとしての機能を果たすことができない。例えば、交通事故等の患者で手術・処置が終わり、術後の処置・経過観察が必要な場合は整形外科・外科系の有床診療所・病院で、また高齢者の肺炎・脳血管障害等ではある程度症状が落ち着いた段階で内科系の有床診療所・病院で引き受けていただければ、大学も助かるし、その他の医療機関も施設の有効活用となり、お互いにメリットがあるので長続きする体制が構築できると思われる。もちろん、患者さんの容体が悪くなれば、必ず大学で引き受けていただくことになっている。県医師会で救命救急センターの入院患者の転院受け入れに係るアンケート調査を行っており、各郡市医師会での連絡網の確認が必要である。

さらに、大学の救命救急センター開設の持つ意義について考察しておく必要がある。言うまでもなく、本県唯一とも言える本格的な救急医療及び教育機関としての役割は重要である。それに劣らず重要な役割は、本県の医師確保、ひいては地域医療の再生に欠くことができないということである。救急医療は医療の原点であり、専門医志向の若手医師にとっても救急医療の基本知識・技術の修得は必須であり、研修医にとって魅力となり得る。また、入学者の 40% を占める女性医師の再教育にとっても有用であると思われる。妊娠・出産・育児という大役・ハンディキャップを乗り越えるには救急現場での研修が現場復帰に非常に有用と考える。また、救急医療は労働集約型産業の典型であり、採算面で苦しい。今回の救命救急センターの設置等に際しては、地域医療再生基金が大きな役割を果たしたが、それ以降の保障はない。市町村の地域医療を守るための方策に期待したい。

(平成 24 年 11 月 5 日)

日州医談



医療事故死と医師法第 21 条

常任理事 はま だ まさ お
濱 田 政 雄

1999 年以降、都立広尾病院事件および横浜国立病院における患者取り違え事件に端を発しての「医療不信」といった言葉がメディアで多く取り上げられ、医療事故の多発といった問題を背景に、増加の一途をたどっていた。その後、2004 年の福島大野病院事件を契機にメディアの論調が大きく変わり、医療現場、特に産科・救急の現場を中心に無理が生じているという「医療崩壊」が叫ばれるようになった。医療を巡る世間の動向はこの十数年の間に大きく振り子のように揺れ動いている。こういった背景のなか、医療事故の調査やその補償制度のありかたについて様々な議論が行われたが、民主党への政権交代以降は停止状態であった。その後、2011 年 4 月に閣議決定された規制・制度改革に係る方針などに沿って、2011 年 8 月から新たに検討が再開された。

医療は、その業務内容の持つ本来的リスクという観点から、医療事故がある一定の確率で生じることは免れ得ない。医療事故とは、過誤を伴う事故と過誤を伴わない事故の両方を含んでいるが、いずれにしても悪質なものを除いて刑事罰を適用することは不適切である。また適正診療は非普遍性を有し、“過失”を議論することは妥当でない。リスクの高い患者であっても応召義務が課せられ、診療を拒否すれば医師法違反に問われる一方で、その診療の結果に対してさらに刑罰を科せられることが非合理的であることに疑念は生じない。

医師法 21 条に「医師は、死体又は妊娠 4 か月以上の死産児を検案して異状があると認めたときは、24 時間以内に所轄警察署に届け出なければならない」と規定されている。これは、明治時代の医師法に同文の規定がなされて以来、現在の医師法に至るまでそのまま踏襲されてきている条文である。立法当初の趣旨はおそらく犯罪の発見と公安の維持を目的としたものであったと考えられる。しかし、社会生活の多様化・複雑化にともない異状死の解釈もかなり広義でなければならなくなっているとして、平成 6 年 5 月に日本法医学会が「異状死ガイドライン」を作成し、病気になり診療をうけつつ、診断されているその病気で死亡することが、基本的には「ふつうの死」であり、これ以外は異状死とした。すなわち、診療行為に関連した予期しない死亡、及びその疑いがあるもの、注射・麻酔・手術・検査・分娩などあらゆる診療行為中、または診療行為の比較的直後における予期しない死亡、診療行為自体が関与している可能性のある死亡、診療行為中または比較的直後の急死で、死因が不明の場合など、診療行為の過誤や過失の有無を問わないとしたのである。この考えの採用で、都立広尾病院事件は医師法第 21 条の届出義務違反として最高裁で有罪判決となった。この判決により、医師法 21 条による医療関連死の報告義務が生じたのである。従って、医療関連死を異状死体届出義務の対象と位置づけることの是非と医療関連死の原因調査制度設計がこの数年来

の課題である。医師法第 21条の拡大解釈がもたらした医療現場の混乱と、医療提供者の不当な処遇及びそのために社会が被る不利益を改善する対策として、平成 20年 4月・6月に厚生労働省は法務省・警察庁との間で合意した内容として、医療死亡事故の原因究明・再発防止の仕組みについて“医療の安全の確保に向けた医療事故による死亡の原因究明・再発防止等の在り方に関する試案＝第 3次試案”および“法律で対応する事項＝医療安全調査委員会設置法案（仮称）大綱案”を示した。すなわち、医療事故に対して警察は謙抑的に対応し医療安全調査委員会報告を尊重するとした。ただし、第 3次試案・大綱案では第三者委員会としての同委員会から警察への届出範囲について、「重大な過失」あるいは「標準的な医療から著しく逸脱した医療」としたが、語句の定義が不明瞭であったため、同委員会から警察への通知が危惧された。多忙や過労によるヒューマンミスである“単純ミス”は、いかに注意を払っても犯すことがあり、そうした事例が“標準的な医療から著しく逸脱した医療”から除外されず、刑事事件化する可能性があり、萎縮医療につながる恐れも指摘されたため、改正につながらないままに政権交代にともない廃案となった。また、同委員会における調査とは別に、警察が独自の捜査をしないという保障がなされない点も問題視されていた。第 3次試案・大綱案への対案として、平成 23年 6月に日本医師会より、民主党案を基盤にしたと考えられる「医療事故調査制度の創設に向けた基本的提言について」が発表され、各都道府県医師会・都市医師会に対して意見が求められた。意見をまとめた結果として、「診療に関連した予期しない死亡の調査機関設立の骨子（日医案）」案文が、本年 10月 9日に提示された。診療に関連した予期しない死亡は診療関連死調査機関に届け出ること、医師法 2条に示された届出の範囲から除外するとし、調査機関は責任追及を目的とせ

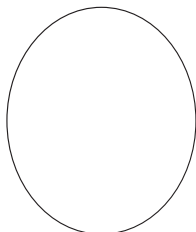
ず、調査結果は医療機関や患者遺族らに報告するが、警察へは通知しないとしている。この骨子案を基に日医は医療事故調査機関の成熟を図る考えである。

他方、日本医療安全調査機構は、全国 10都道府県のモデル事業で診療に関連した死亡の原因を究明し、再発防止を目指す厚労省の補助事業をまとめた報告書で、医療機関が診療関連死を届け出る相手を現行の警察から第三者機関に変えることなどを提言した。診療に関連する事故の原因究明を行う「第三者機関」に届出・報告すれば、警察への届け出は不要とし、医師法 2条の改正に向け 2つの案も示した。両案ともに、医師法 2条を改正し、第三者機関に届出・報告することで、異状死体届出義務を果たすことになるとしている。

更に、本年 2月に発足した厚生労働省の「医療事故に係る調査の仕組み等のあり方に関する検討部会」では、医療事故の原因究明と再発防止を目的に設置する第三者機関と、捜査機関の関係について議論した。医療関係団体を代表する委員の多くが、診療関連死は原則、警察に届けられないという意見を主張しているのに対し、患者委員などからは、診療関連死が故意だったかどうかを医療サイドが判断することへの慎重論が相次ぎ、捜査機関との関係についての結論は出なかった。医療事故被害者・遺族側委員は、「医療事故を警察に届けられないなら、しっかりした第三者機関をつくり、問題解決につながる仕組みにしないといけない」と要望するなど、第三者機関についてはこれから詳細な制度設計に入る段階である。

いずれの提言・報告も第三者機関の設置を前提に、診療に関連する事故死への医師法第 2条の直接の関与をなくそうとしている。法務省・警察庁との合意がいかになされるかが一番の問題ではあるが、第三者機関の性格の中立性が保障されれば解決する道が開けると思われる。

随 筆



高村智恵子をめぐって

西都市 西都病院 ^{とも}友 ^{なり}成 ^{ひさ}久 ^お雄

「智恵子抄」は高名な詩人・彫刻家の高村光太郎の詩集で、智恵子は光太郎の夫人であることは書くまでもないだろう。この詩集が発刊されて 70 年余り経つ。なぜ今頃「智恵子抄」なのか。7 月初め、東京の知人から「スケッチで訪ねる智恵子抄」という著書が送られてきた。表紙が自作のきれいな風景画で魅力的だった。智恵子縁の地を訪ね、52 歳で病死するまでの足跡をたどっている。よく知られているように、彼女は精神病（統合失調症）になったのだが、今回発病が 45 歳だったとわかって、私はそれまでの生活歴や病前性格などはどうだったのだろうと、興味をもった。智恵子抄のほか 2、3 の文献を参考にして、患者の病歴のようにまとめた。

プロフィールと生活歴

智恵子は 1886 年（明治 19 年）、福島県一本松市生まれ。県内有数の酒業家の 2 男 6 女の長子で、乳母日傘で育つ。弟（長男）は常軌を逸した奇行があり、32 歳で死亡しているが、人格障害の範囲だったのではないかとと思われる。他に家族歴に特記すべきことはないようである。地元の高等小学校を卒業して福島高等女学校に入学し、下宿生活をする。当時は珍しかったテニスをやったり、身なりもモダンだったという。運動、裁縫などを含め万能で、成績も優秀だった。大人しく無口で、人と打ち解けなかったが、みんなから一目置かれる存在だった。禁止されていた小説をよく読んでいたという。

高等女学校を卒業後、東京女子大学校（家政科）

に入学する。在学中家政科の勉強はあまりやらず、油絵の教室によく出入りしていた。卒業後は「太平洋画会」の研究所に入り、洋画家として独立することを目指す。25 歳の時（明治 44 年）、時代の最先端を行く女性の雑誌、「青鞥^{せいとう}」の表紙絵を描き、新しい女性画家として華々しい脚光を浴びた。同じ年、光太郎と出会い、翌年光太郎のアトリエが完成した時、当時は珍しかったグロキシニアの花を持って訪れた。その後熱的な恋文を送るようになったという。28 歳で結婚する。智恵子は女性本来の欲求である愛の生活を全うすることも望んだのだった。

光太郎は非常に寛容で優しい性格だったと思われる。智恵子を芸術をともに分かち合う同志と認め、アトリエを別々にしてそれぞれ精進した。結婚の翌年に湿性肋膜炎を患っている。この後再発して何度か入院することになる。一方、千恵子の絵画への精進は、光太郎によれば「すさまじい」ものだった。しかし、智恵子は油絵の色がよく出せないと悩み苦しんでいた。智恵子は体調不良や療養を理由に毎年 4、5 回里帰りして、1 年の半分を実家で過ごしていた。光太郎はその間の不自由な生活に愚痴もこぼさなかったようだから、智恵子への愛の強さ、また忍耐力の強さがうかがわれる。

二人は時々温泉旅行に出かけているが、その際スキーや乗馬などに熱中したこともあった。智恵子が好んだのだった。二人はまた、一緒にスケッチに行ったりし、恋人同士のように思わ

れたのではないかと想像する。誰かが相思相愛だったと言っている。しかし、実際の生活はそう甘いものではなかったという。経済的にも貧しかった。智恵子は芸術への精進と家庭生活との矛盾撞着に悩んだという。光太郎は結婚後から死去までの間、智恵子を謳った詩を書き続けている。智恵子が純粋な愛で、自分を頽廃気分から救ってくれたと言い、また、彼女が自分の善と悪を判定する「審判官」と信じており、彼女に対して崇拜にも近い感情を抱いていたようである。それらの結晶が「智恵子抄」なのだろう。

光太郎によれば、智恵子は夫に全幅の信頼をおき、あふれるような愛を注いでいたという。一方、絵画の勉強や制作では徹底的で、猛烈な精進ぶりだったが、雑用で光太郎の制作の時間が減らないように非常に気を遣っていた。それは愛情からだけではなく、芸術家の妻だという自覚が強かったからだと思われる。それだけに、度々で長い里帰りも心の痛むことだっただろう。智恵子はいつの間にか油絵の時間を縮小し、粘土の彫刻を試みたり、機織りを始めたりした。油絵に絶望していたと、光太郎が書いている。

40代初めの数年は生活は困窮を究めたが、智恵子は生涯でもっとも健康に恵まれた。智恵子は金銭のことにはいたって淡泊で、世間欲がなく、社会的関心を持たなかったという。41歳の時、妹(ヨシ)が死去(32歳)。43歳の時には弟が継いでいた実家が破産し、一家は離散した。この後智恵子の健康状態は低下していった。また、母と姪は千葉県に嫁いだ妹(セツ)宅に身を寄せたが、千恵子はこのことを光太郎には隠していたという。高村家が皇室家とも関係のある格式の高い家柄だったためもあるのだろう。44歳では遺産をめぐる兄弟間の訴訟が起こり、証言台に立ったりしている。

45歳の時、精神病の最初の兆候が現れた。それは光太郎の取材旅行中のことだったというが、

詳細は分らない。翌年アダリン(睡眠薬)で自殺未遂を起こして入院した。この時遺書を書いており、内容は母への愛と謝罪、光太郎への感謝を表すものだった。翌年、光太郎は療養の目的で温泉や智恵子の郷里などを連れて回ったけれども、智恵子の病状はかえって悪化したという。翌年には母や妹一家の住む千葉県に転地療養したが、病状は悪化して、光太郎がアトリエに連れて帰った。

翌年(49歳)には近所の子供たちから気違いと言われたりし、近隣にも迷惑をかけると思い、光太郎は南品川にあったゼームス坂病院に入院させた。診断は「晩発性緊張型精神分裂病」(現在の統合失調症)であった。この病気は多くが思春期後から30歳前後までに発病するから、45歳というのはかなり遅く、だから晩発性とされたわけだ。この時代、精神科の病院は極めて少なく、多くの患者は座敷牢に入れられていた。この病院はすべて開放病棟でドアに鍵もかけていなかった。そして、松沢病院の初代院長になった呉秀三(東大教授も兼務、近代精神医学の祖)によって進められた作業療法が導入されていた。作業療法をそんなに早く取り入れた民間病院があったのかと驚く。

ここで始めた折り紙がやがて、紙を様々に切り取って作る紙絵に発展していった。50歳の時だったが、この頃には結核のためやつれが目立ってきたという。そして52歳(1938年)の時、粟粒性肺結核で死亡したのだが、千数百点もの紙絵を遺していた。3年ぐらいの間にこのようなおびただしい作品を制作したというのは驚異的である。精神の病が良好な寛解状態にあったのだろう。そして、絵画の才能が病気に影響されずに温存されていて、また、制作の意欲やエネルギーは異常なまでに高まっていたと思われる。一般に興味や意欲が減退していく統合失調症ではこういう例は珍しい。

「智恵子抄」が発刊されたのは没後 3 年(昭和 16 年)である。智恵子のアトリエは戦災に遭って作品が焼失し、油絵は 3 点しか現存していない。紙絵の方は別の所に保管されていたので、すべて焼失を免れた。そして、昭和 26 年に公開されている。

発病の環境的・心理的要因について

智恵子の性格は無口で内向的。社交性が無く友人がほとんどいなかったという。統合失調症の病前性格としてはよくみられる特徴であるが、病気に直接結びつくものではない。

結婚後、絵画への精進ぶりは猛烈で、色彩のことでひどく悩み苦しんでいたことは前にも述べた。アトリエで静物画を何百枚となく描いていたが、風景画は温泉や山に出かけたときだけ描いたという。光太郎は、自分の作品が出来上がるとまず智恵子に見てもらうが、智恵子は自分の絵を夫に見せようとしなかったという。結婚後間もなくの頃、小品の風景画を「文展」(日展の前身)に出品したが、落選し、その後は光太郎がいくら勧めてもどこの展覧会にも出品しなかった。自分の絵に満足できなかったからだろうか。光太郎によれば、完成しないものが多く、本格的な油絵は描けていなかったという。このような絵の悩みを打ち明ける友人も仲間もいなかっただろうし、「すさまじい」精進では気晴らしをする余裕もなく、内にうっ積した感情を発散することもできなかっただろう。そのため内向的傾向が助長されたかもしれない、と光太郎が言っている。色彩のことで悩み続け、その段階から脱することができなかったようだが、それは単なるスランプとは思えない。

画家として独立することを目指していたのに、このような状態では自分を赦すことはできなかっただろう。光太郎によれば、彼女は自虐と言えるほど自分を責めていたという。そして、あげくには、自分の絵に絶望していたのだった。

深刻な悩み、苦しみは強いストレスになる。光太郎が智恵子のことを、「いつもどこかしら悪い」と、身体の不調があったことを述べている。すでに慢性的な神経症になっていたのではないかと思われる。その症状として不定愁訴が現れていたとすると納得できる。そういう心の悩みと身体の不調に耐えられなくなって頻繁に里帰りをしていただろうのではないかと。東京での悪戦苦闘のような生活が原因だから、智恵子の好きな自然が豊かで、居心地のいい実家の環境に戻れば症状は軽減し、あるいは軽快しただろう。湿性肋膜炎も時々再発していたから、病弱と思われるのも無理からぬことだったと思われる。

43歳の時実家が破産し、一家は離散した。自分が生まれ育った、そして結婚後も毎年 1 年の半分を過ごしていた実家が無くなった。智恵子にとっては大きな喪失体験ただけでなく、「この先自分はどうなるのだろう」という強い不安に脅かされることになっただろう。45歳の時統合失調症が発病したのだが、そういう事態や不安が誘因(引き金)になったと考えられる。もちろん、神経症からこの病気になるのではない。この病気はいろんな先天的、早期後天的原因でつくられる素質的な脆弱性(なりやすさ)に環境的な要因が加わって発病するものである。智恵子の長期続いた神経症の状態も統合失調症を誘発する要因の一つになったと思われる。

終わりに

智恵子は大学に進学する時、親に反対されている。卒業すると画家になって独立することを目指したが、明治の終わり頃ではそんなことは男にしか許されないことだった。結婚も親に反対されたけれども、自分の好きな人と結婚した。世間の因習にとらわれず、自分の意思を通した。自分の心の欲求に従って自己実現を求め、また、女性本来の愛の生活も全うしようとしたのだ。そういう生き方が新しく、女性の憧れとなった

のだという。一方、最近では智恵子を芸術の殉教者とみなす意見も出てきており、そのすさまじい精進ぶりと、長い悪戦苦闘の末病死した生涯を考えると、私ももっともな評価だと思う。なぜか解らないが、才能を伸ばせないまま終わったことは誠に不憫であり、また惜しまれることだったという気がする。

智恵子や「智恵子抄」に関する書籍はこれまで多数出版されており、平成になってからも20冊を超えているから驚く。今日でも智恵子に興味を持つファンや読者が少なくないということだろう。「スケッチで訪ねる智恵子抄」の著者、

坂本富江氏も熱烈なファンだと自ら述べている。この本は智恵子(抄)の入門書としても好適だが、熱心なファンには縁のあるスポットを訪ねる良きガイドになるだろう。

参考文献

- 坂 本 富 江 スケッチで訪ねる「智恵子抄」
2012 牧歌社
- 高村光太郎 智恵子抄 1941 新潮社
- 大 島 裕 子 智恵子抄を歩く - 素顔の智恵子 -
2006 新典社

10月のベストセラー

1	拉致と決断	蓮 池	薫	新 潮 社
2	禁断の魔術 ガリレオ8	東 野 圭 吾	文 藝 春 秋	
3	日本経済「円」の真実	榊 原 英 資	中 経 出 版	
4	山中伸弥先生に、人生と iPS細胞について聞いてみた	山 中 伸 弥	講 談 社	
5	聞く力 心をひらく35のヒント	阿 川 佐 和 子	文 藝 春 秋	
6	アメリカに潰された政治家たち	孫 崎 亨	小 学 館	
7	続・暴力団	溝 口 敦	新 潮 社	
8	置かれた場所で咲きなさい	渡 辺 和 子	幻 冬 舎	
9	個人備蓄の時代 自衛自活の「要塞」を築け!	副 島 隆 彦	光 文 社	
10	教科書に載っていないUSA語録	町 山 智 浩	文 藝 春 秋	

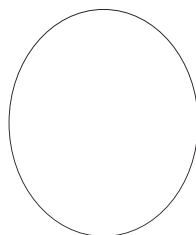
宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎(0985) 23-7077

エコー・リレー

(44 回)

(南から北へ北から南へ)

宮古島への思い

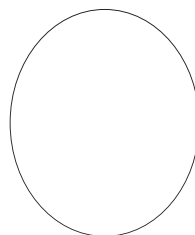
小林市 池田病院 いけ だ とく ろう
池 田 徳 郎

小林に戻って 12 年になる。メタボにならないように始めたランニングとスイミング。そして友人からトライアスロンを勧められ、初めは不安だったがあっという間にその魅力に引き込まれた。今では年間 5 ～ 7 回ほど大会に出場し、妻や 3 人の息子達までもトラ

イアスロンの世界に引き込んだ。トライアスロンを始めた当初は、フルマラソンさえ走りきることが出来ず、必ず途中で歩いてしまっていたし、オリンピックディスタンスと呼ばれるスイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km を完走することでいっぱい、いっぱいだった。さらに長い距離の大会に出場するなんて想像さえ出来なかった。しかし、トレーニングしていくうちに、長い距離へ挑戦したいという気持ちが芽生え、4 年前トライアスリートの憧れの大会である全日本トライアスロン宮古島大会(スイム 3 km、バイク 155km、ラン 42.195km)に出場し完走した。今では 4 年連続出場しているこの大会が、1 年の中の一大イベントとなり、宮古島を中心に 1 年が回っている感じである。これまでの人生で大きな病気も怪我もしたことはなかったが H 24.9.2 大会前のバイクの練習走行中に落車に巻き込まれ転倒。ヘルメットは割れ、着用していたウェアもボロボロ。不覚にも左鎖骨を折ってしまった。鎖骨 1 本で済んだから良かったようなものだが、一歩間違えば、取り返しの付かないことになっていた。しかし、手術後 3 日目にはジョギングを開始し 5 日目からはバイクトレーニングも再開した(勿論、診療は骨折した当日の夜から当直をこなした。開業医ですから...)。40 日目にはスイム練習も再開した。10 月末に開催される綾照葉樹林マラソン、12 月の青島太平洋マラソンにも勿論、出場する。来年 4 月に開催される宮古島大会、是非 5 年連続出場を果たし、次年度の優先出場権が得られる 10 位以内を目指したい。

〔 次回は、高鍋町の山口 真太郎先生をお願いします 〕

リターンライダーになってみて

都城市 いき形成外科 い き よし ろう
ひふ科クリニック 伊 木 秀 郎

若い時にバイクに乗り、その後家族や仕事を理由にバイクを降りたが、40～50代になって、もう一度バイクに乗り始めることをリターンライダーと言うそうです。私が高校生の頃は、3 無運動の時代でバ

イクの免許すら取らせてもらえませんでした。高校時代の反動が浪人するとバイトをして中型自動 2 輪(今では普通自動 2 輪)の免許を取り 250cc のバイクに乗り始めました。こんな調子です。大学入学が遅くなってしまいましたが、大学 2 年の時には念願だった 1 か月間の北海道ツーリングもでき良い思い出になりました。専門課程にあがるとバイトと試験に追われ、いつのまにかツーリングに行く機会も無くなりました。ポリクリが始まった頃には、坂道と渋滞の多い長崎にピッタリな 125cc のスクーターに乗り換えしました。大学卒業後転勤と共に、それすら乗らなくなりました。地元で開業後、大学時代の友人のバイクに乗せてもらい、自分が 15 年ぶりに乗れたことに嬉しくなり、400cc バイクを購入し、ついには大型二輪免許(昔の限定解除)をとり、大型車に乗り換えてしまいました。開業医で連休を取れませんので、普段は日帰りツーリングばかりですが、GW と秋の連休の年と二回は例の友達とキャンプツーリングに出かけています。地元でも隅先生主催の宮崎医療関係者ツーリングクラブに参加させていただき、交流が増えて楽しませてもらっています。皆さんもリターンライダーになりませんか？

〔 次回は、都城市の山内 明先生をお願いします 〕



あなたできますか？

— 平成 23年度 医師国家試験問題より —

(解答は 77ページ)

- 1 . 疾患と治療薬の組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。

a West症候群 ——— ACTH
b 憤怒けいれん ——— バルプロ酸ナトリウム
c 複雑部分発作 ——— ビタミンB₆
d 単純型熱性けいれん — フェニトイン
e Lennox -Gastaut ——— クロナゼパム 症候群

- 2 . 閉塞性黄疸で検査値が上昇する項目はどれか。

a 血中胆汁酸
b 末梢血白血球
c 血中アルブミン
d 尿中ウロビリノゲン
e 血中トランスサイレチン(TTR)

- 3 . 右鎖骨下静脈穿刺で起こりやすい合併症はどれか。

a 肺炎
b 気胸
c 無気肺
d 胸管損傷
e 反回神経麻痺

- 4 . 16歳の男子。2日前からの発熱と左の側腹部痛とを主訴に来院した。小児期から年に2回ほど高熱を出し、そのたびに抗菌薬治療を受けていたという。体温 39.0。左肋骨脊柱角に叩打痛を認める。血清クレアチニン 1.0mg/dl。排尿後の腹部超音波検査で残尿を認めない。左腎に水腎症と軽度の萎縮とを認める。尿培養でグラム陰性桿菌を認めた。抗菌薬投与で解熱し、症状は消失した。

引き続き行う必要がある検査で適切なのはどれか。

a 腎生検
b 逆行性尿道造影
c 排尿時膀胱尿道造影
d ガリウムシンチグラフィ
e イヌリンクリアランス試験

- 5 . 主に二国間の国際協力を推進する機関はどれか。

a ILO(国際労働機関)
b JICA(国際協力機構)
c UNAIDS(国連合同エイズ計画)
d UNICEF(国連児童基金)
e WHO(世界保健機関)

- 6 . 40歳の女性。多関節痛を主訴に来院した。5年前から両手関節と両側中手指節間関節とに疼痛と腫脹とを認めている。朝のこわばりは2時間持続する。赤沈 70mm/1時間。免疫学所見 CRP 4.0mg/dl。抗CCP抗体陽性。

この疾患の特徴でないのはどれか。

a 尺側偏位
b 蝶形紅斑
c ボタン穴変形
d スワンネック変形
e 肘関節伸側の皮下結節

- 7 . 3歳の女性。右側のふくらはぎが痛むことを主訴に来院した。1年前の職場の健康診断で脂質異常

症を指摘されたため、その後は毎日4kmのウォーキングを継続していた。1週前に市内の診療所で検査したところ、総コレステロール 302mg/dl、トリグリセリド 125mg/dlであり、改善していなかったため、同日に処方された治療薬の内服を開始した。3日前から右ふくらはぎの痛みがあり、心配になって受診した。身長 162cm、体重 58kg。右上眼瞼に黄色腫を認める。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。右側下腿を把持すると強い疼痛を認める。血液生化学所見：尿素窒素 31mg/dl、クレアチニン 1.1mg/dl、尿酸 7.2mg/dl、総コレステロール 250mg/dl、トリグリセリド 131mg/dl、総ビリルビン 0.9mg/dl、AST 45U/l、ALT 40U/l、LD 203U/l(基準 176~353)、ALP 288U/l(基準 115~359)、γ-GTP 12U/l(基準 8~50)、CK 1,889U/l(基準 30~140)、Na 137mEq/l、K 4.4mEq/l、Cl 19mEq/l。

この患者に投与された可能性が最も高いのはどれか。

a エストロゲン
b 甲状腺ホルモン
c 陰イオン交換樹脂製剤
d エイコサペンタエン酸
e HMG-CoA還元酵素阻害薬

- 8 . 3歳の男児。聴こえが悪いことを心配した母親に伴われて来院した。2か月前に細菌性髄膜炎と診断され、自宅近くの医療機関で治療を受けた。退院した後、呼んでも振り向かなくなっていることに気付いたという。発語に問題はない。鼓膜所見に異常を認めない。聴性脳幹反応では両側無反応である。頭部MRIで異常を認めない。

対応として適切なのはどれか。

a 鼓室形成術
b 補聴器の装用
c 人工内耳埋め込み術
d 副腎皮質ステロイドの大量投与
e 定期的聴覚検査による経過観察

- 9 . 49歳の女性。頸部のしこりを主訴に来院した。左鎖骨上窩に、径2cmの固く可動性に乏しいリンパ節を触知する。

検査として適切でないのはどれか。

a 脳血管造影
b 胸腹部造影CT
c 喉頭内視鏡検査
d 頸部超音波検査
e 上部消化管内視鏡検査

10. 3歳の女児。意識障害のため搬入された。なかなか泣きやまないことに怒った父親が、児の肩を持って何度も強く揺さぶったところ、ぐったりして意識がなくなったという。意識レベルはJCS -200。認められる可能性が最も高いのはどれか。

a 脳梗塞
b 水頭症
c 髄膜炎
d 脳内出血
e 硬膜下血腫

ご 案 内

第 112 回九州医師会総会・医学会

会 期 平成 24 年 11 月 24 日(土)・25 日(日)
会 場 シーガイアコンベンションセンター及び周辺施設
日 程 24 日(土) 九州医師会連合会総会・医学会
25 日(日) 分科会・記念行事

九州医師会総会・医学会

日 時 平成 24 年 11 月 24 日(土) 13 00~ 16 10

1. 九州医師会連合会総会 13 00~ 13 50

- | | |
|----------------|------------------|
| 1) 開会の辞 | 6) 祝電披露 |
| 2) 国歌斉唱 | 7) 宣言決議 |
| 3) 黙 禱 | 8) 次回開催担当県医師会長挨拶 |
| 4) 九州医師会連合会長挨拶 | 9) 閉会の辞 |
| 5) 来賓祝辞 | |

2. 九州医師会医学会 14 00~ 16 10

特別講演 (14 00~ 15 00)

演 題 「未知のペプチド・ホルモン探索から医薬品の創生まで

~ LH -RH , ANP そして BNP ~」

講 師 宮崎大学名誉教授

国立循環器病研究センター名誉所長 松尾 壽之 先生

座 長 宮崎大学医学部内科学講座

循環体液制御学分野教授 北村 和雄 先生

特別講演 (15 10~ 16 10)

演 題 「初の国際人・伊東マンショが生きた時代

~ 没後 400 年の節目を記念して ~」

講 師 宮崎大学教育文化学部教授

竹井 成美 先生

座 長 宮崎県医師会長

稲倉 正孝

分 科 会

場所：シーガイアコンベンションセンター(宮崎市山崎町浜山 ☎ 0985-21-1155)

学 会 名	会 場
第 1 分科会 内科学会 (第 29回日本内科学会九州地方会) (第 4回日本内科学会九州支部生涯教育講演会)	11月 25日(日) 8 30~ 17 00 4 F 天葉・天樹・クリスタル・マーブル・アンバー
第 2 分科会 小児科学会 (第 6回九州小児科学会)	11月 25日(日) 9 00~ 4 F 天玉
第 3 分科会 外科学会	11月 25日(日) 9 00~ 12 20 2 F オーチャード
第 4 分科会 整形外科学会 (日本整形外科学会教育研修認定学会)	11月 24日(土) 16 30~ 19 15 2 F ファウンテン
第 5 分科会 産科婦人科学会	11月 25日(日) 10 00~ 14 10 2 F ファウンテン
第 6 分科会 東洋医学会 (第 38回日本東洋医学会九州支部学術総会)	11月 25日(日) 8 55~ 16 05 4 F 天蘭・アイボリー
第 7 分科会 産業医学会	11月 25日(日) 9 30~ 15 00 4 F 天瑞

記 念 行 事

場所：シーガイアコンベンションセンター及び周辺施設(宮崎市山崎町浜山)

大 会 名	会 場
ゴルフ大会 (第 52回九州メディカルゴルフ大会)	11月 25日(日) 7 39~ フェニックスカントリークラブ(☎ 0985-21-1301)
サッカー大会 (第 34回全九州ドクターズサッカー大会)	11月 25日(日) 9 00~ シーガイアスクエア 1(☎ 0985-21-1111)
走ろう会大会	11月 25日(日) 10 00~ 11 00 フェニックス・シーガイア・リゾート(☎ 0985-21-1111)
囲碁大会 (第 32回九州医師囲碁大会)	11月 25日(日) 10 00~ シーガイアコンベンションセンター(☎ 0985-21-1155)
テニス大会 (第 94回全九州医師テニス宮崎大会)	11月 4 日(日) 9 00~ 17 00 終了しました シーガイアテニスアカデミー(☎ 0985-21-1311)

宮崎県感染症発生動向 ～ 9 月 ～

平成 24 年 9 月 3 日～平成 24 年 9 月 30 日(第 36 週～ 39 週)

■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 結核 29 例が報告された。保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 16 例，疑似症患者が 5 例，無症状病原体保有者が 4 例で，患者は肺結核が 11 例，その他の結核（結核性胸膜炎，腸結核など）が 3 例，肺結核とその他の結核の併発が 2 例であった【表 1】。男性 14 例・女性 11 例で，年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類 腸管出血性大腸菌感染症 13 例が宮崎市(11 例)，都城・日向(各 1 例) 保健所から報告された。男性 4 例，女性 9 例で年齢別報告数を【表 3】に示した。患者が 7 例，無症状病原体保有者が 6 例で，主な症状は水様性下痢，腹痛，血便などであった（HUS 発症例なし）。原因菌の O 血清型を【表 4】に示した。

4 類 ○ A 型肝炎 延岡保健所管内で 1 例報告された。60 歳代の女性で全身倦怠感が見られた。
○ 日本紅斑熱 日南保健所管内で 1 例報告された。90 歳代の男性で発熱，刺し口，発しん，肝機能異常がみられた。
○ レプトスピラ症 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。60 歳代の男性で発熱，筋肉痛がみられた。

5 類 ○ クロイツフェルト・ヤコブ病 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。50 歳代の女性で古典型。進行性認知症，ミオクロヌス，錐体路症状，小脳症状，視覚異常，無動性無言状態，記憶障害，精神・知覚障害，異常感覚がみられた。

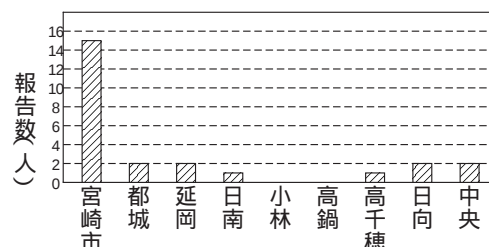


図 1 保健所別報告数(結核)

表 1 結核の病型及び報告数(人)

肺結核	11
肺結核及びその他の結核	2
その他の結核	3
無症状病原体保有者	4
疑似症患者	5

表 2 結核の年齢別報告数(人)

0 歳	20 歳代	30 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳以上
1	1	5	2	4	3	7	2

表 3 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別報告数(人)

2 歳	6 歳	7 歳	10 歳代	30 歳代	40 歳代	80 歳以上
2	1	2	2	4	1	1

表 4 腸管出血性大腸菌感染症の O 血清型及び毒素型別報告数(人)

	VT1	VT2	VT1, VT2	VT
○ 74		1		
○ 111	8			
○ 157		1	2	
○ 不明		1		

表 5 麻疹患者の状況

年齢群	病 型	症 状	遺伝子型	ワクチン接種歴
20 歳代	修飾麻疹(検査診断例)	発熱	D 8	不明
20 歳代	修飾麻疹(検査診断例)	発熱，発しん	D 8	1 回(1 歳時)
30 歳代	修飾麻疹(検査診断例)	発熱	D 8	1 回
30 歳代	麻疹(検査診断例)	発熱，コプリック斑，発しん	D 8	なし
小学生	麻疹(検査診断例)	発熱，咳，鼻汁，結膜充血，コプリック斑，発しん，腸炎	D 8	なし
中学生	麻疹(検査診断例)	発熱，咳，発しん	検査中	なし
10 歳代	麻疹(検査診断例)	発熱，咳，発しん	検査中	なし

○破傷風 都城保健所管内で 1 例報告された。90 歳の女性で筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、痙攣がみられた。擦過傷あり。

○麻疹 宮崎市(5 例), 日向(2 例)保健所管内から報告された。詳細を【表 5】に示した。

■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 3,337 人(定点あたり 99.0)で、前月比 100%と横ばいであった。また、例年と比べると 129%と多かった。

前月に比べ増加した主な疾患は RS ウイルス感染症、インフルエンザ、手足口病で、減少した主な疾患は、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、感染性胃腸炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は RS ウイルス感染症、咽頭結膜熱、手足口病、マイコプラズマ肺炎であった。

インフルエンザの報告数は 40 人(0.7)で前月の約 3.3 倍、例年の約 2 割であった。宮崎市(2.3)保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 57%、6 ~ 9 歳が 39%、20 歳以上が 8 %であった。

RS ウイルス感染症の報告数は 1,070 人(29.7)で前月の約 3.3 倍、例年の約 3.8 倍と多かった。宮崎市(47.1), 日向

前月との比較

	9 月		8 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	40	0.7	12	0.2	
RS ウイルス感染症	1,070	29.7	322	8.9	
咽 頭 結 膜 熱	129	3.6	99	2.8	
溶レン菌咽頭炎	196	5.4	241	6.7	
感 染 性 胃 腸 炎	672	18.7	935	26.0	
水 痘	130	3.6	104	2.9	
手 足 口 病	611	17.0	451	12.5	
伝 染 性 紅 斑	4	0.1	11	0.3	
突 発 性 発 し ん	158	4.4	227	6.3	
百 日 咳	2	0.1	0	0.0	
ヘルパンギーナ	185	5.1	671	18.6	
流行性耳下腺炎	89	2.5	168	4.7	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	38	6.3	49	8.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	2	0.3	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	11	1.6	8	1.1	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■ 病原体検出情報(微生物部)

検 出 病 原 体		件	臨 床 症 状 等
ウ イ ル ス	ライノウイルス	2	・気管支炎, 37.4 , 下気道炎(気管支炎) ・肺炎, 38.9 , 下気道炎(肺炎)
	麻疹ウイルス	7	・麻疹疑い, 38.5 ・麻疹疑い, 39.3 , 肝機能障害 ・麻疹疑い, 39.0 , 筋肉痛, 発しん(紅斑) ・麻疹疑い, 39.0 , 発しん(丘しん), 胃腸炎(軟便) ・麻疹疑い, 発しん, リンパ節腫脹, 結膜炎, 38.0 , コプリック斑, 上気道炎(咽頭炎, 咽頭痛), 下気道炎(気管支炎) ・麻疹疑い, 37.3 , 咽頭炎 ・麻疹疑い, 37.1 , 上気道炎, 発しん
	インフルエンザ A H 3 型	3	・インフルエンザ, 37.8 ・インフルエンザ A , 発熱, 下気道炎 ・麻疹疑い, 37.3 , 咽頭炎
	コクサッキーウイルス B 4	1	・髄膜炎, ヘルペス疑い, 38
細 菌	毒素原性大腸菌(O 128 H UT S Th)	1	・発熱(37.4), 下痢, 腹痛
	毒素原性大腸菌(O UT H UT S Tp)	1	
	毒素原性大腸菌(O UT H NM S Tp)	1	・下痢
	毒素原性大腸菌(O 153 H 42 S Th)	1	・ ETEC 疑い
	毒素原性大腸菌(O UT H UT LT)	1	
	腸管出血性大腸菌(O 26 H 11 VT 1)	1	・下痢, 血便
	腸管出血性大腸菌(O 103 H UT VT 1)	8	・無症状
	腸管出血性大腸菌(O 111 H UT VT 1)	4	・下痢 ・ ETEC 疑い ・下痢, 嘔気, 嘔吐, 血便, 腹痛
	腸管出血性大腸菌(O 111 H 21 VT 1)	1	・発熱(38.4), 下痢
	腸管出血性大腸菌(O 157 H 7 VT 1,2)	3	・下痢, 嘔気, 嘔吐, 腹痛 ・発熱(37.2), 下痢, 血便, 腹痛 ・腹痛
	Salmonella Thompson(O 7 k 1,5)	3	
	Salmonella Miyazaki(O 9 1,2,13 1,7)	1	
	Salmonella Braenderup(O 7 eh en z15)	1	

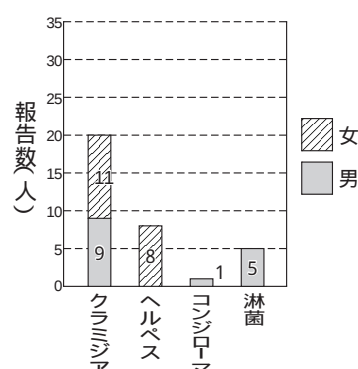
(38.5), 延岡(35.0)保健所からの報告が多く, 年齢別では 5 か月以下が 11%, 6 ~ 11 か月が 24%, 1 歳が 39%, 2 歳が 17%, 3 歳以上が 9 % であった。

咽頭結膜熱の報告数は 129 人(3.6)で前月の約 1.3 倍, 例年の約 2.5 倍と多かった。日南(13.3), 延岡(7.3)保健所からの報告が多く, 年齢別では 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 611 人(17.0)で前月の約 1.4 倍, 例年の約 2.2 倍と多かった。日南(39.3), 都城(27.5)保健所からの報告が多く, 年齢別では 6 か月から 3 歳が全体の約 9 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 11 人(1.6)で前月の約 1.4 倍, 例年の約 2.8 倍と多かった。1 ~ 4 歳が 7 人, 5 ~ 9 歳が 3 人, 10 ~ 14 歳が 1 人であった。

男女別性感染症報告数



■ 月報告対象疾患の発生動向 9 月

□ 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は 34 人(2.6)で, 前月比 70%と減少した。また, 昨年 9 月(4.0)の約 7 割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数 20 人(1.5)で, 前月の約 6 割, 前年の約 9 割であった。都城(4.0)保健所からの報告が多く, 20 歳代・30 歳代がそれぞれ全体の約 4 割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症: 報告数 8 人(0.62)で, 前月の約 1.6 倍, 前年の約 1.3 倍であった。60 歳代が全体の半数を占めた。
- 尖圭コンジローマ 報告数 1 人(0.08)で, 前月の約 2 割, 前年の約 1 割であった。30 歳代の男性であった。
- 淋菌感染症 報告数 5 人(0.38)で, 前月の約 8 割, 前年の約 4 割であった。すべて男性で 20 歳代が全体の約 6 割を占めた。

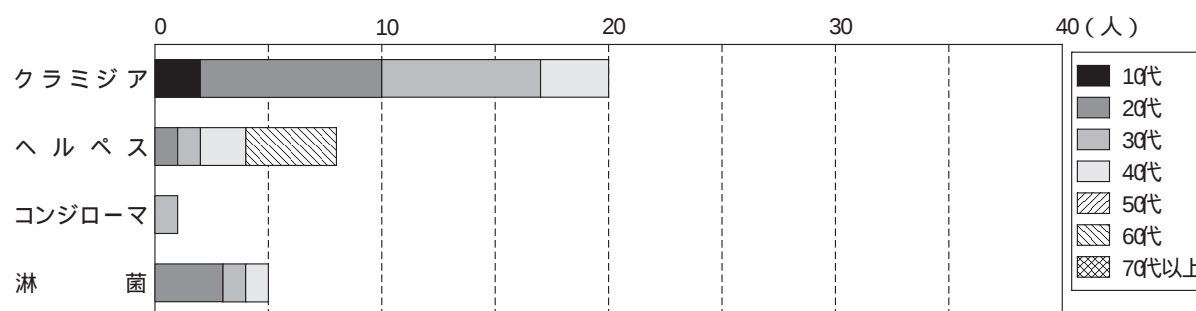


図 年齢別性感染症報告数(9 月)

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

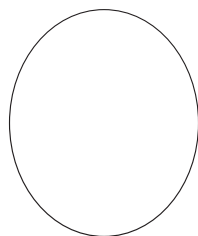
定点医療機関からの報告総数は 29 人(4.1)で前月比 91%と減少した。また, 昨年 9 月(3.4)の約 1.2 倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数 27 人(3.9)で, 前月の約 9 割, 前年の約 1.4 倍であった。70 歳以上が全体の約 8 割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数 1 人(0.14)で, 前年の約 3 割であった(前月報告なし)。70 歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告数 1 人(0.14)で, 前月の約 3 割, 前年と同程度であった。70 歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

メディアの目



どうなるシンボル樹

南日本新聞社宮崎支局長

あか さき こう いち
赤 崎 公 一

宮崎支局に赴任して早くも半年以上が過ぎた。初めての県外支局勤務。おおらかで温かい宮崎の土地柄と県民性に接しながら、刺激的な日々をすごしている。

着任から間もなくして、気になる話を聞き取材した。南国・宮崎のシンボル樹ともいえる「ワシントニアパーム」の一部が、ひょっとしたら姿を消すかもしれないというのだ。植えられて約 40 年が経過し、当時 4、5 メートルだった樹高はおよそ 4 倍の 20 メートル前後にまで成長。枯れ枝落下による車両事故や維持管理費の増大といった課題を看過できなくなったのが理由である。宮崎河川国道事務所は、管理する約 850 本のワシントニアパームについて、伐採や植え替えを含め、今後の管理の在り方について検討するという。

宮崎に入ると真っ先に観光客らを出迎えてくれるヤシの巨木。歴史をひもとけば、「宮崎観光の父」と呼ばれる宮崎交通の創業者・故岩切章太郎氏らの呼び掛けで、国内新婚旅行ブームに沸く宮崎ならではの景観をつくろうと、植栽したのが始まりだ。いまでは幹線道路沿いのほか、県庁や宮崎市役所、駅、空港などあらゆる主要施設周辺にも広がり、南国ムード演出に一役買っている。というより、県民にとっていまや「あって当たり前の景色」として街にとけ込んでいる。

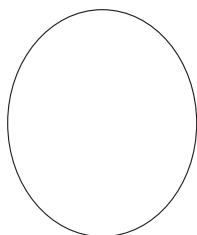
取材しながら、1980 年代終わりごろ、鹿児島市で巻き起こった都市景観をめぐる論争をふと思い出した。同市を走る国道 10 号の鶴丸城跡付近に「歴史と文化の道」と名付けられた幹線道路がある。ここの街路樹がイチヨウからイヌマキに植え替えられた際、賛否両論が噴出。「周りの石畳やガス灯とマッチしていい」と評価する声がある半面、「人工的でとってつけたよう」「行政主導による決定はいかがなものか」との批判的意見も少なくなく、ちょっとした景観論争になった。

あれから 20 年余。イヌマキも今ではすっかり街並みになじんだようで、あのときの議論はなんだったのかとも思う。しかし、都市景観をめぐる問題は、左様に複雑で、正解がないのが常である。

宮崎河川国道事務所は、観光客や道路利用者、沿道住民らにアンケート調査を実施し、本年度中に維持管理方法について一定の結論を出すという。大切なのは単に経済効率や好き嫌いの枠にとどまることなく、歴史的経緯をふまえ、自分たちの街に一番ふさわしい景観とは何なのかについて市民が話し合い、知恵を絞ることではないか。将来に禍根を残さないような議論と結論を願ってやまない。

国公立病院だより

県立延岡病院



くすもと し ぶ お
楠元 志都生 病院長

平成 19 年 7 月 20 日に県立延岡病院に着任してから、早いもので 6 度目の秋を迎えました。しかし、着任当時に描いていた病院像にはまだまだ近づけず、理想と現実の間で踟躇しているところ です。前回、平成 19 年 11 月号の本誌にて当院のご紹介をさせていただいておりますが、近況も交え、改めて沿革、体制及び取組みについてご紹介させていただきます。

1. 沿革

- 昭和 23 年 9 月 日本医療団延岡病院を買収開院
- 24 年 12 月 済生会延岡病院と旧延岡保健所の施設を利用し、現在地に移転
- 平成 10 年 7 月 病院改築工事全面竣工
周産期センターの設置
- 16 年 6 月 脳神経センターの設置
- 17 年 1 月 日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定
- 3 月 心臓血管センターの設置
- 4 月 救命救急科の設置
- 11 月 消化器センターの設置
- 18 年 4 月 医療連携科の設置
HCU の増床(8 床→ 12 床)
外来化学療法室の設置
- 5 月 電子カルテの導入
- 11 月 地域医療支援病院の承認
- 12 月 7 対 1 看護基準の取得
- 20 年 4 月 DPC 対象病院となる
地域周産期母子医療センターに認定

- 22 年 4 月 臨床工学科及び病理診断科を設置
- 23 年 3 月 宮崎県がん診療指定病院に指定
- 24 年 4 月 院内保育施設開所
新救命救急センターの工事着工

2. 病院概要

- 病床数 460 床(一般病床 456 床, 感染病床 4 床)
現在の稼働病床数 386 床
- 標榜科目(医師数) 21 科
内科(7), 循環器内科(4), 心療内科・精神科(1), 神経内科(0), 小児科(5), 外科(4), 整形外科(5), 脳神経外科(3), 心臓血管外科(4), 皮膚科(2), 泌尿器科(2), 産婦人科・周産期科(6), 眼科(0), 耳鼻咽喉科(3), リハビリテーション科(併任), 放射線科(1), 歯科口腔外科(2), 麻酔科(4), 臨床検査科・病理診断科(1)
- 標榜されていない科目
救命救急科(1)

3. 病院の取組み紹介

県立病院では、平成 23 年度から 25 年度までの 3 年間を対象とする「第二期宮崎県病院事業中期経営計画」を策定し病院事業の経営改革を進めています。当院におきまして、具体的な行動計画として策定しました「県立延岡病院アクションプラン」に沿って運営を行い、魅力ある病院づくり・働きやすい病院づくり等を

目指しているところですが、この中の主な取組みについてご紹介します。

<医療スタッフ確保の取組みについて>

医師や看護師等に対するレベルアップのための様々な支援や先進病院への派遣研修、当院独自の「病院学会」の開催など医療スタッフの研修環境の充実に取り組んでいます。また、長期的な医師・看護師等の医療スタッフ確保策として、卒後臨床研修医の確保に向けた合同説明会への積極的な参加や研修プログラムの充実、医学生及び看護学生による病院見学等の受け入れに力を入れています。

<院内保育施設の設置>

かねてから当院スタッフより要望のありました院内保育所(名称「キッズルーム おひさま」)を今年4月1日にオープンし、利用者数も増えてきました。この保育所は、24時間365日の保育に対応が可能で、病後児保育の専用個室も備えています。当院スタッフが安心して仕事に専念できる環境を整えることで、医療スタッフの確保につながるものと期待しています。

<心療内科・精神科の再開>

これまで、専門医師の不在により休診しておりました心療内科・精神科につきまして、専門医の確保がかない平成24年4月より診療を開始しました。外来のみで入院加療は行っておりませんが、リエゾン精神医療など当院に入院中の他科の患者の精神的ケアも行っています。

<救急医療の機能強化について>

救急医療は当院が特に力を入れている分野で、県北を中心として年間約2,200台の救急車搬送を含む、年間5,000人を超える救急患者を受け入れています。私が着任しました数年前に比べますと医師会や会員の皆様の御協力により、一次救急の件数は大幅に減少しております。当院の本来の役割である二次・三次救急対応に集中できる環境が整いつつあり、この紙面をお借りしてお礼を申し上げる次第です。

この救急医療のさらなる機能強化を図るため、現在、当院の南側に隣接して新救命救急センターの建設を進めています。屋上にヘリポートを備えた3階建ての建物で、平成24年度中の運用開始を目指しています。この新救命救急センターが運用を開始すれば、これまで以上に迅速な対応が可能となり、より良質な地域医療の提供に大きく貢献できると考えています。

<経営改善について>

当院の平成23年度の収支は、2億7,200万円余の赤字となりましたが、前年比では1億2,000万円余の収支が改善され、第二期経営計画で定めた平成24年度の目標値も1億8,000万余上回ることができました。

今後とも、医療の質を落とすことなく、経営の効率化などの経営改善に取り組んでいきます。

4. おわりに

当院は、宮崎市、大分市、熊本市のいずれに行くにも車で2時間かそれ以上の時間を要する延岡市にあり、県土の約4割、人口では約25万を擁する県北地域の二次・三次医療を担っています。ご承知のとおり県北地域は広大な山間地を抱えており、医療資源にも恵まれず、慢性的な医療スタッフの不足など多くの問題を抱えています。

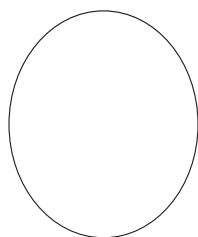
幸いなことに、平成25年度には宮崎-延岡間の高速道路が完成する見込みであり、宮崎への所要時間は大幅な短縮が期待されています。また、本年度から導入されたドクターヘリにより、救急の搬送手段についても充実が図られています。これらにより、医療資源に恵まれた宮崎市など他地域との連携もこれまで以上に活発化していくことが期待できます。

これからも、さらなる病院改革を続けながら、地域住民のみなさまに良質な医療を提供できるように、スタッフ一同で邁進していく所存でございます。

今後とも、みなさまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(楠元 志都生)

宮崎大学医学部だより

感覚運動医学講座 - 皮膚科学分野 -



せとやま みつる
瀬戸山 充 教授

初代教授井上勝平先生退任後、瀬戸山充教授が平成 12 年 12 月就任し、今年で 13 年目を迎えます。本年度は皮膚科学教室が開講して以来 35 年が経過し、節目の年でもあります。5 月 26 日(土)、宮崎市民文化ホールにて、

第 9 回日本褥瘡学会九州地方会学術集会を瀬戸山充会長のもと開催いたしました。本学会は九州地方会ではありますが皮膚科医、形成外科医だけでなく、褥瘡の患者さんをケアしている看護師やコメディカルの方々も参加する大きな学会で、実際、参加者は 750 名を超え、褥瘡の診療に精通した講師を招き、「褥瘡の過去・現在・未来」をメインテーマに開催され、実りある学会となりました。

現在、医局員は男性 10 名、女性 10 名、計 20 名で構成され、大学は瀬戸山充教授、天野正宏准教授、助教として小田裕次郎(副外来医長)、古結英樹、加嶋亜紀(医局長)、前久保理恵(外来医長)、堀川永子(副病棟医長)、井上知宏(病棟医長)、黒岩亜由子、室井栄治が、医員として飯川まどか、金丸志保、西元順子、渡邊章、葉山康武、根本利恵子(休職中)がおります。また基幹病院である県立延岡病院には中山文子(部長)と石井千才(医長)、県立宮崎病院には持田耕介(医長)と成田幸代(副医長)がそれぞれ出向しております。

当教室では、1994 年から清武町がん検診の一環として町民の皮膚癌検診を行っており、今年で 19 年目を迎え、日光角化症などの早期の皮膚癌の発見に効果を挙げています。また開講当初から慢性砒素中毒患者の医学的調査・診療として、宮崎県の土呂久地区住民検診に参加してき

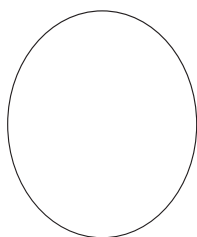
ましたが、この関連から宮大工学部と協力しアジア地域での砒素汚染状況調査にも同行しています。過去には内モンゴル、バングラデシュ、ネパール、インドに教室から医師を派遣してきました。さらに医学部学生を帯同し皮膚科専門医のいない県内地域に赴き、皮膚病に関する講演会と住民に対する無料の皮膚病医療相談会を行っています。今年は串間市で開催し、串間市民病院スタッフの援助のもと、地域住民の方々にたいへん好評でした。今年度で 6 回目ですが、学生たちは地域医療を身近で感じることができたため、医学教育上も有益なものとなっています。今後も皮膚科医として地域はもちろん、アジアから世界に向けて発信し、貢献していきたいと考えています。

診療面では当教室は他大学と異なり、皮膚悪性腫瘍や熱傷・外傷などの外科的手術が必要な患者さんが多いことが特徴ですが、アレルギー性疾患、感染症、水疱症、膠原病などの患者さんも多く、宮崎県の皮膚科基幹病院としての役割も担っています。医学生や研修医にとって様々な皮膚科領域の疾患に接するチャンスがあり、将来、バランスのよい実力も兼ね備えた皮膚科専門医を目指すことができるため、教育面でもすばらしい環境を提供していると自負しています。

最後に、研究面では大学院生である西元順子が皮膚のサルコイド反応に対するアクネ桿菌の病原性の関連を、また黒岩亜由子が外陰部パジェット病の浸潤性増殖における免疫組織学的検討をそれぞれテーマに研究を続けています。また本年 9 月から古結英樹がアメリカのマリアミ大学に留学しており、1 年後アメリカから大きな土産を持ち帰ることを期待しています。

大学における診療、教育、研究面を充実させるためには、まだまだマンパワーが不足しているのが現状で、今後、皮膚科に興味をいだき当教室の門をたたいてくれる若者が増えることを望んでおります。
(准教授 天野 正宏)

専 門 分 科 医 会 だ よ り (東 洋 医 会)



かわごえ ひろふみ
川越 宏文 会長

まず、漢方医学の最近の話題としては、世界的な代替統合医療の再評価に伴い、生薬治療が大きな広がりを見せています。それに伴い生薬の価格が高騰しています。さらに、投機マネーの流入、中国国内での消費量増大による生薬の供給能力低下も生薬価格の高騰に拍車をかけているようです。このため生薬治療だけでなく、医療エキス製剤を供給していた製薬会社がその市場から撤退したところもあります。生薬の価格は以前のように安定したものではないため、これまでの4年に1回の薬価改訂では間に合わない状況にあります。今後は市場価格を反映した薬価設定への移行が強く望まれます。

その別の対策として生薬の国内生産が既に全国各地で始まっています。これは禁煙思想の広がりに伴いタバコの消費量が低下し、生産中止に追い込まれた葉たばこ生産農家の救済措置として、代替品目としての生薬生産という農業政策としての一面もあります。宮崎県は都城地域で以前柴胡を生産していた実績があります。是非当県でも様々な大局的見地からその可能性をご検討していただきたいものです。

さて、当会の総会は、例年通り3月開催の予定です。演者等が決定次第、県の医師会等の紙面をお借りしてご案内申し上げます。なお、そ

他の企画として漢方を含めた東洋医学や代替医療についての情報発信についても検討しています。当会が宮崎県民の健康パワーの増強と宮崎県医師会の会員の先生の漢方パワーの向上に繋がりますようお願いしております。

さらに今年は11月25日に九州医師会医学会の分科会の一つとして、日本東洋医学会九州支部学術総会が宮崎大学医学部医学教育改革推進センター長である林克裕会頭のもと、当会理事でもあります大森史彦東洋医学会宮崎県部会長を準備委員長として開催されます。宮崎県東洋医学会はこの会の後援を行うとともに、各種準備のお手伝い、当日の運営のお手伝いをさせていただいています。午前中は一般口演を約30演題、午後は医学教育に関するシンポジウムを予定しています。漢方を専門とされる先生だけでなく、各ご専門領域をお持ちの先生から独自の立場でのご発表をいただきます。当日は、漢方関係の書籍を扱う書店にわざわざ東京から出店していただく予定です。普段宮崎では手に取ってみることの出来ない漢方の専門書や、各科領域で明日の臨床に役立ちそうな漢方の手引き書まで展示販売していただく予定です。

もちろん、この会は東洋医学会に未入会の先生でも、何かしらの有益な情報が得られるものと確信しています。是非、当日は会場までお足をお運びいただきますようお願い申し上げます。

(川越 宏文)

お知らせ

「宮崎県医師会勤務医住宅ローン」
の融資利率改定について

下記のとおり改定されましたのでお知らせいたします。

1. 改定内容(融資利率)

区 分	改 定 後	現 行	改 定 幅
変動金利型 (長プラ連動型)	年 1.25%	年 1.40%	- 0.15%

2. 実施日(平成 24 年 10 月 1 日(月)以降の新規貸出実行分より適用)

3. 商品概要

融資限度額	50万円～5,000万円
資金使途	住宅の新築・増改築・補修資金, 住宅用地の購入資金
金 利	【固定金利選択型】(2 年) 1.1% , (5 年) 1.3% ,
	(10 年) 1.70% , (15 年) 2.80%
	【変動金利型】(長プラ連動) 1.25%
	【変動金利型】(短プラ連動) 2.425%
融 資 期 間	30年以内
担 保	要担保
保 証 人	法定相続人, 担保提供者, 年収合算者
備 考	借入時 65歳以下, 完済時 70歳以下, 団信生命保険付
提 携 銀 行	宮崎銀行

問合せ先 宮崎県医師会 経理課 ☎ 0985-22-5118

— 各種委員会 —

学 術 生 涯 教 育 委 員 会

と き 平成 24年 10月 1日(月)

ところ 県医師会館

テレビ会議：都城・日向・南那珂・西諸・
西臼杵

牛谷常任理事より開会，稲倉会長の挨拶に続き，報告，協議が行われた。

本委員会委員長に菊池郁夫先生，副委員長に杜若陽祐先生が任命された後，稲倉会長から菊池委員長へ以下の諮問が行われた。

諮問事項「地域医療と専門医制度について」

今後，任期の 2 年間で，諮問事項について協議していくこととなった。

報 告

- 1．平成 23年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会について(H 24.3 .1 日医)

平成 22年度の日医生涯教育制度集計結果や，生涯教育推進委員会の答申等について報告が行われた。

- 2．日医生涯教育協力講座セミナー「感染症の予防と治療～呼吸器感染症を中心として～」の開催について(H 22.12.4 県医)

宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野教授の岡山昭彦先生のコーディネートにより，講演，特別講演がテーマ「呼吸器感染症に対する治療戦略及びインフルエンザに対する対応と治療」に沿って行われ，出席者は 108 名であった。

- 3．日医生涯教育協力講座セミナー「女性のがん～最新の治療からワクチンによるがん予防まで～」の開催について(H 23.4 .2 県医)

宮崎大学医学部附属病院長の池ノ上克先生のコーディネートにより，教育講演，特別講演，パネルディスカッションがテーマ「子宮頸がんゼロを目指して～HPV ワクチンの課題～」に沿って行われ，出席者は 102名であった。

- 4．日医生涯教育協力講座セミナー「地域医療と予防接種～ワクチンがもたらす恩恵～」の開

催について(H 23.9 .10 県医)

県医師会佐藤常任理事のコーディネートにより，特別講演，パネルディスカッションがテーマ「予防接種の現状と課題」に沿って行われ，出席者は 175名であった。

- 5．日医生涯教育協力講座セミナー「てんかんの診断から最新の治療まで」の開催について

(H 24.7 .21 県医)

高宮病院鶴紀子先生のコーディネートにより，特別講演，パネルディスカッションがテーマ「見過ごしていないか？日常診療に潜むてんかんを考える」に沿って行われ，出席者は 74名であった。

協 議

- 1．日医生涯教育協力講座セミナー「心房細動と脳梗塞」の開催について

日本ベーリンガーインゲルハイム(株)と共催して行うセミナーで，企画コーディネートは古賀総合病院院長の今村卓郎先生にお願いし，テーマの詳細並びに開催日時等については，今村先生と相談の上で決定することが承認された。

- 2．日医生涯教育協力講座セミナー「家庭血圧測定的重要性～仮面高血圧の診療の実際～」の開催について

第一三共(株)と共催して行うセミナーで，平成 25年 7 月に開催する。企画コーディネートは宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学分野教授の北村和雄先生にお願いし，テーマの詳細並びに開催日時等については，北村先生と相談の上で決定することが承認された。

出席者—菊池委員長，杜若副委員長，山田・大地・尾崎・高山・野口・島田・新添・佐藤・藤元・八尋・飯田・谷口・河野委員

(県医) 稲倉会長，富田副会長，牛谷常任理事，上田・直井・佐々木理事，杉田課長，三田係長

健 康 教 育 委 員 会

と き 平成 24 年 10 月 4 日(木)

ところ 県医師会館

牛谷常任理事の司会で開会した。稲倉会長からの挨拶の後、牛谷常任理事より全理事協議会において委員長に中山健先生、副委員長に帖佐悦男先生が選任された旨報告があり、その後委員の自己紹介を行った。

次に、稲倉会長から諮問事項「県民への健康教育のすすめについて」の検討および審議をしていただくよう依頼があり、中山委員長の進行で議事が行われた。

報 告

1. 平成 23 年度健康教育事業について

昨年度宮崎県医師会が開催した健康教育事業(宮日新聞への掲載等)、会員・各専門分科医会が行った健康教育事業について報告をした。

2. 宮崎県医師会県民健康セミナーについて

平成 23 年 11 月 13 日は「未来ある子どもたちのために～ワクチンが命をまもる」をテーマに開催し、参加者 126 名であった。平成 24 年 3 月 9

日は児童虐待防止をテーマに妊娠等に悩む女性への相談事業・児童虐待防止への取り組みの紹介を目的に開催し、参加者 213 名であった。平成 24 年 3 月 20 日は「今こそ自分の健康を考えよう～こころとからだを～」をテーマにロコモティブシンドロームとうつ病を取り上げ、参加者は 169 名だった。いずれのセミナーも多くの参加者を得て大変好評であった。また、当日のセミナーの様態をマスコミ取材していただき、テレビニュースの中で放送され、新聞にも記事となって掲載された。

協 議

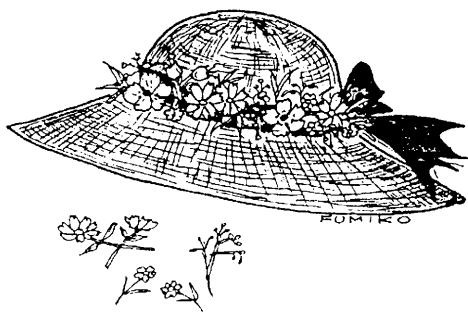
1. 平成 24 年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

今年度の県民健康セミナーの企画をした。セミナーの開催時期は平成 25 年 2 ～ 3 月の日曜または祝日の予定で、ワクチン、認知症、サプリメントの 3 つにテーマを絞って引き続き検討していくことになった。

出席者 - 中山委員長、久保田・松本・竹中・
糸数・阿南・青木・戸田・野田委員
(県医) 稲倉会長、河野副会長、牛谷常任理事、
杉田課長、喜入主事

お 知 ら せ

カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

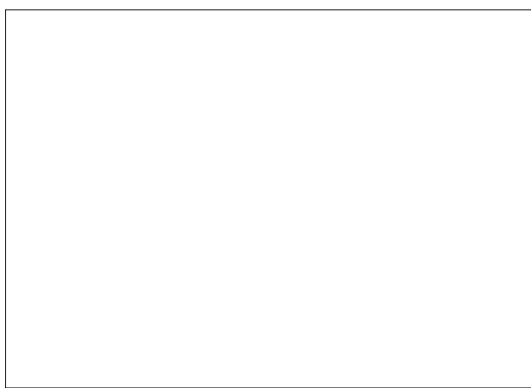
宮崎県医師会広報委員会
〒 880-0023
宮崎市和知川原 1 丁目 101
genko@m-iyazakim ed.or.jp

平成 24年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会

と き 平成 24年 8 月 4 日(土)

ところ ホテルニューオータニ博多(福岡市)

1. 心臓部門 座長：吉永 正夫
(鹿児島県医師会学校保健委員会委員)



報 告

- 1) 九州各県における学校管理下の心臓性突然死(平成 23年度)について(福岡県)

九州各県で毎年継続調査を行っている。平成 23年度の学校管理下での突然死は、佐賀県の中学 2 年の男子生徒が、内因性の急性心不全で亡くなっている。他県でのテニス部の合宿中であり、心疾患既往・健康状態も問題なし、罹病等もなし、アレルギー体質以外特になく、川崎病既往もなかった。朝の練習開始直後調子が悪くなり、座り込んでいたところを発見し、救急車で搬送。搬送中は呼吸も意識もあったが、病院到着後容体急変にて CPR 開始したものの心肺停止となり亡くなった。CT スキャンを撮ったが特定には至らず、また熱中症でもなかったとのこと。残念ながら剖検はされなかった。中学 1 年時の心臓検診時の心電図では全く異常がなく、中体連のマラソン

大会に出たときに撮っていたマラソン検診での心エコーでも異常はなく、家族歴も問題なかった。

もう 1 件は対象外であるが、熊本県の高校 2 年生男子が多臓器不全ということで亡くなった。川崎病の既往があったが、特別後遺症もなく運動制限もなく管理も受けていないし、特記事項はなしと確認されている。体質、心身症状、心疾患は、川崎病の既往以外はなく、心臓カテーテル検査も行われ、冠動脈病変なく川崎病の関与は否定的となっていた。学校でバスケットボール部の練習時、基礎練習、ダッシュを終えた段階で床に手をついて倒れ込んだ。問題があると思うのは、事故が発生した直後に連絡を受けた教諭が気道を確保し、心臓マッサージ・人工呼吸を行って救急車を要請し、「過呼吸で倒れ意識はなく、呼吸が乱れている」と伝えたが、「呼吸があるのであれば AED はしなくてもよい」と指示を受けたとのこと。呼吸の善し悪しを、あえぎ呼吸を正常に呼吸していると認識された可能性が想像される。心肺停止の状態になって病院へ搬送され、心電図に変化があったため、心筋梗塞ではないかということで緊急の冠動脈造影を行ったが、冠動脈瘤や狭窄病変がなく、虚血性心疾患による心肺停止ではないとの判断がなされた。その後、脳の低温療法等が行われ、後遺症として脳症が残り、その後多臓器不全となり 1 か月後に亡くなった。川崎病の既往があって、ひ

と通りの検査は済ませて、合併症なしという扱いのもとに体育活動をしていて事故に遭われた。あえて何かできたか考えると、呼吸の判断により AED を勝手に付けないという方向に持っていないということだと思う。この事例は、日数の問題で対象外という扱いになっている。

その他にも実は福岡でも 2 件ほどあり、心疾患があって冠動脈病変が疑われていたので、“D 管理マラソン禁” 持久走禁という扱いにしていたが、持久走に近い運動を学校でしてしまって“VT” になった。幸いにして蘇生等がうまくいき、低温療法もして合併症なく回復はしているが、明らかにニアミスという扱いになる。また、“LQT” の女の子であるが、寝ているときの発作という一番たちの悪い発作のタイプで運ばれ、少し前の心臓検診で LQT の所見を見逃されていたのではという疑いがある。詳細はまだ分かっていないが、そのような事例もあるし、その他にも各県には事例があると思う。年間 20 例から 30 例に死亡がおさまっているのは事実かもしれないが、発生件数は減っているかと言われると、水面下で表に出ていないものは、減っていないのではないかと思われる。

その他、各県から AED の使用等が報告され、“AED 使用” という定義を、“AED を使った” とか“作動した” とかに限定せず、“持ち込まないといけない事態になった” と解釈しないといけないのでは等の意見交換が行われた。

協 議

1) AED 使用状況、ニアミス症例の状況と調査票の改訂について(鹿児島県)

九州各県から稼働事例、作動なしの事例が報告され、昨年から九州管内で AED 使用事例を報告しているが、突然死・ニアミス症例の定義や調査票のタイトル、様式、配

布先などを後日メールで検討して、パイロットスタディ的な調査を行うこととなった。

2) 心臓検診時の統一病名について

(鹿児島県)

全国で心臓検診が行われているが、統一病名としたきちんとしたものがなく、昨年のこの検診協議会で素案が検討され、本日の改定案を再度メール等で修正し、九州管内で統一病名として作成して、今後の検診結果の集計から使用していくこととなった。

出席者 - 佐藤常任理事、高村学校医部会理事、小川課長

2. 腎臓部門 座長：服部 新三郎

(熊本県医師会学校検診委員会委員)

報 告

1) 九州各県、平成 23 年度並びに過去 5 年間の診断名集計結果について(福岡県)

福岡県より資料に基づき報告があった。コンピュータの不都合によりデータ紛失があったので、本年 11 月までには紛失データを追加し再度報告することになった。

2) 日本学校保健会の「学校検尿のすべて平成 23 年度改訂」の主な変更点について

(鹿児島県)

鹿児島県より、主な変更点について九州学校腎臓病検診マニュアルと対比して報告があった。本改訂版は、九州学校腎臓病検診マニュアルを参考に作成されている。尿蛋白 /Cr 比のパラメータについて、「九州学校腎臓病検診マニュアル」においては、重症度の判定基準として尿蛋白 /Cr 比に加え、1 日尿蛋白量の基準が設けられているが、本改訂版においては、尿蛋白 /Cr 比のパラメータのみの採用となっている。

3) 平成 23 年度九州各県における学校検尿についてのアンケート調査集計結果報告について(宮崎県)

平成 13年度に行った学校検尿に関するアンケート調査から 10年が経過し、その間に九州学校腎臓病検診マニュアルの作成等で検診システムは進歩してきていると考えられるが、診断基準の統一化や都市部と地方の検診の地域差などの課題も多い。そこで再度検診の実態を把握するために実施された本アンケート調査について報告があった。今回は公立小・中学校の報告で、11月には県立高校、私立小・中・高校の結果を報告したい。

協 議

1) 「九州学校腎臓病検診マニュアル」の運用・方向性について(鹿児島県)

「学校検尿のすべて 平成 23年度改訂」では、本マニュアルを参考にして改訂が加えられている。尿蛋白 / C_{cr} 比のパラメータについて報告 2 のとおり、本マニュアルと「学校検尿のすべて」では重症度の判定基準材料が異なるが、協議の結果「学校検尿のすべて」の方を新しく取り入れていくことになった。また、専門医紹介基準・暫定診断名についても多少異なるが、本マニュアルの基準で行っていくこととなった。今後にも必要に応じて、本協議会にて本マニュアルの改訂を検討していきたい。

2) 潜血・蛋白のカットオフ値(+)の採用状況について(熊本県)

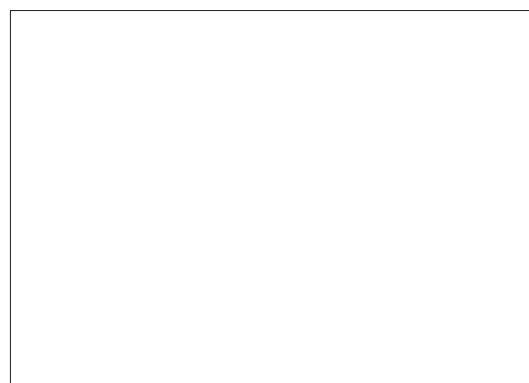
3) 学校検尿(1 次検尿、2 次検尿)の検査結果の判定機関へ直接判定基準のアンケートを送り、判定基準の統一化をお願いする。

(宮崎県)

2, 3 については関連が深いので併せて協議された。現在、九州学校腎臓病検診マニュアルでは、1 次・2 次検尿の判定基準は(+)を採用しているが、マニュアルに従って実施されているのは長崎、宮崎、沖縄のみである。その他の県は、大枠(+)が採用されているが、地域によっては(±)を採用

しているので、いろいろな事情があると思うが統一化をはかるため、宮崎の宮田委員がアンケートを作成し各県で調査を実施することとなった。なお、アンケート調査は、実際の検査を行っている検査機関を対象に実施する。

出席者 - 宮田学校医部会理事、高山主事



3. 小児生活習慣病部門

座長：田崎 考(佐賀県医師会学術委員)

協 議

1) 各地区で行われている生活習慣病予防検診の検査(検診)項目について(佐賀県)

各地区で取り組んでいる小児の生活習慣病予防検診の検査項目について意見交換をした。

県全体として生活習慣病予防検診を実施している県はなく、宮崎県からは日向市の取組み、検査項目を紹介した。

検診は、まず採血するかしないかで分かれるが、採血するグループは学校の抵抗など難しい面が多いため実施しているところは少なく、なかなか増えていかない。1 次検診を肥満度でチェックする場合は 2 次検診に回す際にどこまで検査するかが問題となる。公費で行う場合はインスリンまで調べるが、保険の場合は、診断名との関係で難しい面があり、今後検討が必要である。

2) 平成 23 年度九州地区尿糖陽性者群集計結果について(佐賀県)

平成 23 年度の学校検尿尿糖陽性者について、九州各県医師会が調べた結果を検討した。しかし、今回が初めての調査であり、県によっては全数集めることができなかったり、男女や学年ごとに分けられない例があった。次回は少なくとも小中高ごと男女ごとの尿糖陽性者数と総受診者数を把握するというのが課題となった。なお、宮崎県は、1 次については小 1、中 1、高 1 の 128,915 名の受診者中 123 名が陽性となり、最終結果としては、異状なしが 16 名、腎性糖尿が 7 名、糖尿病 1 型が 6 名、糖尿病 2 型が 2 名、糖尿病疑いが 1 名、未受診が 22 名、不明が 13 名であった。他県に比べ未受診の多さが高くなっており課題である。

3) 成長障害、身体発育、身長と体重の成長低下と減少、貧血を調査する(大分県)

大分県より、長期欠席児童、不登校児童の中に摂食障害に起因するものがあり、その基礎病態として発達障害があると考えられ、調査をしていると紹介があった。

生活習慣病検診は肥満児ばかり重要視しているが、現実を見ると痩せている子もいるし、発達障害や心の問題を抱えている子どももあり、体にも影響を与えている。そういった面に対しても何らかの検討を加えていくべきではないかと議論したが、問題が大きすぎ今回だけではまとまらないので、時間をかけてゆっくり検討しようということになった。

出席者 - 澤田学校検診委員会委員，
久永課長補佐

宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館 1 階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVD などを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVD の視聴もできます。

開室時間 月～金曜日 10:00～19:00、土曜日 10:00～18:00

休館日 日曜・祝日、12 月 29 日～1 月 3 日、8 月 14～15 日、特別整理期間(3 日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地

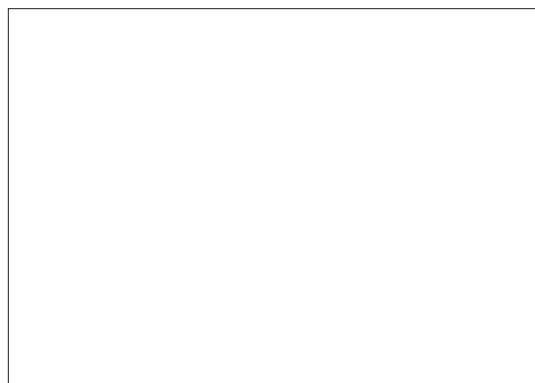
TEL 0985-22-5118 E-mail tosho@miyazakimed.or.jp

第 56回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成 24年度九州学校検診協議会(年次大会)

と き 平成 24年 8 月 4 日(土)～ 5 日(日)

ところ ホテルニューオータニ博多(福岡市)

メインテーマ 「子どものレジリエンスを高める
学校保健安全教育の推進」



8 月 4 日 , 5 日に福岡市において九州ブロック学校保健・学校医大会ほか関連行事が開催された。

5 日午前中に開催された平成 24年度九州学校検診協議会では , 心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに教育講演が行われた。心臓部門では「学校心臓検診のあり方」と題し , 愛知県済生会リハビリテーション病院院長長嶋正實先生 , 腎臓部門は「『学校検尿のすべて』の改訂について」と題し , 東京都立小児総合医療センター副院長本田雅敬先生 , 小児生活習慣病部門では「小児メタボリックシンドローム : そのリスクと対応」と題し , 産業医科大学小児科講師山本幸代先生による講演が行われた。また今回は特別部門として , 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科国際保健医療福祉学研究分野教授の高村昇先生から「長崎・チェルノブイリから福島を学ぶ」と題し講演があった。

分科会では , 眼科部門では , 「小児における屈

折・強制について」をテーマに , こやのせ眼科クリニック院長合屋慶太先生 , ウエダ眼科院長植田喜一先生の講演が行われた。耳鼻咽喉科部門では「難聴児の現状とその対応」をテーマにパネルディスカッションが行われた。運動器部門では , 「学童期検診と小児のスポーツ障害」をテーマにパネルディスカッションが行われた。

午後からは九州医師会連合会学校医会総会の後 , 九州ブロック学校保健・学校医大会が開催された。初めに「レジリエンスの重要性」と題し , 鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授阪根健二先生より講演があった。レジリエンスとは困難に打ち勝つ力 , 困難から立ち上がる力であり , 最近「防災力」という意味でも使われている。最近の子どもは逆境や困難に弱いとよく言われているが , 子どもに対して , ただ打たれ強さを求めても酷であり , 周りが共感性をもって接し自尊心を育んだり , 対処できるスキルを教えたり , 大人の介在が重要である。

次に「想定外を生き抜く力を育む防災教育」と題し , 群馬大学大学院工学研究科教授片田敏孝先生より講演があった。片田先生は東日本大震災以前に釜石市で津波防災に熱心に取り組んでいた。特に子どもに対しての防災教育を行ったが , 東日本大震災時には , 子どもが率先して周りに声をかけながら避難をしたことで , 避難に躊躇している大人が行動することができたり , 小中学生が幼稚園生や老人の避難を手助けしたり大きな成果を上げ「釜石の奇跡」と呼ばれるほど犠牲者が少なかった。

平成 24 年度九州学校検診協議会幹事会

九州医師会連合会長の稲倉会長，九州学校検診協議会の松田会長より挨拶の後，慣例により，松田会長が座長に選出され，協議に入った。

1．平成 23 年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

福岡県より事業報告並びに決算について報告があった。平成 23 年度から専門委員会の開催回数を 1 回から 2 回に増やしている。

また，九州各県別の突然死(心臓性急死)発生状況の説明があった。平成 23 年度は 1 件のみ(長崎県で中学生男子)で，原因不明とのことであった。

2．平成 24 年度九州学校検診協議会の事業計画並びに予算について

福岡県より事業計画並びに予算について説

明があった。平成 23 年度に引き続き 24 年度も専門委員会を 2 回開催する。各県の分担金を含めた予算案も含め全会一致で承認された。

3．平成 24 年度九州学校検診協議会第 1 回専門委員会について

本幹事会に先立って行われた同委員会について，各部門より報告があった。

出席者—稲倉会長，富田副会長，佐藤常任理事，
宮田・高村学校医部会理事，
澤田学校医部会学校検診委員，
大重事務局長，小川課長，
久永課長補佐，高山主事

九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

福岡県松田会長，日医道長常任理事の挨拶の後，慣例により，松田会長が座長に選出され協議に入った。

協 議

1．学校において予防すべき感染症の出席停止の期間について(鹿児島県)

鹿児島県より次のとおり提案理由の説明があった。出席停止の期間は学校保健安全法施行規則に定められているが，第 2 種の結核及び髄膜炎菌性髄膜炎，第 3 種感染症については「病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで」とされており，学校現場と医療現場の解釈の不一致，また学校医間でも解釈が統一されていない面がある。

宮崎県では園医部会において学校安全衛生法施行規則に沿った基準を作成しホームページに掲載している。他県においては，出席停止の最終的な判断は学校医によっており，見解等をまとめている県はなかった。

2．眼科，耳鼻咽喉科の学校医活動と学校検診の内容について(鹿児島県)

鹿児島県より次のとおり提案理由の説明があった。都市部以外では特に眼科医，耳鼻咽喉科医の高齢化や医師不足が進み，ある郡市医師会では一人の眼科医が 20 校を担当しており，学校検診の時期には診療に支障をきたす事態も起こっている。小学校と高校では見つける疾病や発見率も異なるので，一律に行う

のではなく、高校などで行う検診は内容を簡素化し負担を減らしてほしいという意見も出ている。

各県とも眼科医，耳鼻咽喉科医の数がもとと少ないうえに偏在もあり，負担が大きいということであった。また，講話だけ若しくは3年に1回で良い，過疎化が進んだ地域では1か所に集めての集中方式が良いという意見や要望があるという県もあった。

3．各種証明書・文書料の取扱いについて

(福岡県)

福岡県より，感染症の証明書発行について，学校によって独自の様式の証明書を求められたり，病名だけのものや登校許可の記載を求められるものまで様々なケースがある。医療機関の文書料の対応も無料とするところから様々な設定があるということで，各県の状況を照会した。

各県とも料金の取り決めは行っていないが，宮崎県の園医部会では印鑑不要の簡単な様式を作成しできるだけ文書料を徴収しないように依頼している。他県でも同じように簡単な書式で無料を要請している都市医師会やなるべく低廉な文書料としていただくようお願いした県医師会があった。

中央情勢報告

日医道長常任理事より，協議1～3についての日医の見解を交えて中央情勢報告があった。

出席停止期間については，文科省の会議において，インフルエンザの出席停止期間を「発症後5日かつ解熱後2日」と提案し，学校保健安全法施行規則が平成24年4月1日に改正された。また，現在，生徒やPTA，教職員を対象とした感染症対策に関する正しい知識に関する冊子を日医も参加して執筆中で，近く文科省サイトで公開予定である。

学校検診については，学校の責任で行うものであるので，学校医不足により学校検診ができないという問題は，行政が責任を負うべき問題であるが，行政は自らの問題とっていない。学校医不足の問題は医師会が背負うべき問題ではないが，各地域で意識喚起が必要であるので，行政との問題共有を図っていただきたい。

文書料については，文科省にも確認したが，徴収しないという場合は許されるが，統一料金を決めることは許されない。

出席者—稲倉会長，富田副会長，佐藤常任理事，
大重事務局長，小川課長，
久永課長補佐，高山主事

平成 24年度九州医師会連合会学校医会評議員会

福岡県松田会長の挨拶の後，松田会長が議長に選出され議事が進行された。

報 告

- 1．平成 23年度九州医師会連合会学校医会事業について(大分県)
- 2．平成 23年度九州医師会連合会学校医会歳入

歳出決算について(大分県)

- 大分県より資料に基づき報告があり，1，2とも承認された。

- 3．平成 24年度九州医師会連合会学校医会事業経過について(福岡県)
福岡県より資料に基づき報告があった。

議 事

第 1 号議案 平成 24 年度九州医師会連合会学
校医会事業計画に関する件
(福岡県)

福岡県より説明があり、原案どおり承認
された。

第 2 号議案 平成 24 年度九州医師会連合会学
校医会負担金並びに歳入歳出予
算に関する件(福岡県)

福岡県より前年度と同額の負担金をお願い
したいとの提案があり了承された。その
後予算案説明があり、審議の結果原案ど
おり承認された。

第 3 号議案 第 57 回・第 58 回九州ブロック学校
保健・学校医大会開催担当県に
関する件(大分県)
第 58 回及び 59 回九州ブロック学校
保健・学校医大会開催担当県の交
代について(長崎県)

第 57 回(平成 23 年度)開催を沖縄県担当で
決定し、第 58 回(平成 24 年度)は、本来の順
番であれば長崎県であったが、国体と重な
るため宮崎県にお願いし、第 59 回(平成 25
年度)に長崎県で開催することが提案され、承
認された。

出席者—稲倉会長、富田副会長、
佐藤常任理事、大重事務局長、
小川課長、久永課長補佐、高山主事

お 知 ら せ

平成 24 年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも養成校では力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

(平成 24 年 10 月 26 日現在)

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 24 名 (女 24 名)	就職希望者 35 名 (男 4 名、女 31 名)	就職希望者 8 名 (女 8 名)
連絡先： 0985-85-0146 宮崎市清武町加納 1415 担当：佐土原 敦 谷口 和子	連絡先： 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当：福元 進	連絡先： 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当：原口桂一郎 中山さおり 吉原真由美

全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会

と き 平成 24年 9月 29日(土)

ところ 名古屋東急ホテル(名古屋市)

平成 23年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会は、愛知県医師会の担当で開催された。

協議会長挨拶(愛知県医師会柵木会長)

今年度より滋賀県が本協議会にご参加いただくことになった。また、大阪府にも今回オブザーバーとして出席していただいた。

急性期医療等の適切な提供に向けた勤務医の負担軽減のため、この度の診療報酬改定で医師事務作業補助体制加算が付いた。急性期病院だけではなく診療所にも加算を付けてほしいということで日医の委員会で議論し、答申書を出した。本日まで出席いただいた日医羽生田副会長、藤川常任理事にはよろしくお願い申し上げたい。

協議会開催歴を見ると、一時は色々な県で医療秘書を養成していたことが分かる。その後養成を辞める県が出てきて加入数が減少したが、今また医療秘書を養成しようという機運が高まってきていると思う。今後も引き続き日医認定医療秘書の養成に積極的に取り組んでいきたい。

来賓祝辞(日医羽生田副会長)

勤務医の負担軽減策として診療報酬改定で医師事務作業補助体制加算が付いたが、まだまだハードルが高い。病院の勤務医だけでなく開業医も事務的作業が多く、医療秘書が診療所においても評価されると診療所医師の業務軽減にかなり繋がる。本日はオブザーバーとして大阪府から参加されているが、他にもいくつかの県から日医へ医療秘書学院についての問い合わせが来ている。養成を復活させようという動きがあ

り、養成に前向きな医師会にはなるべく早い時期に説明に赴き、学院を一つずつ増やしていくことができれば良いと考えている。

教科書については、カリキュラム検討委員会から答申をいただき、改訂作業に入った。早ければ平成 25年 4月からのスタートと考えたが、当初の予定よりやや遅れ気味である。平成 25年度中に全ての教科書を揃え、平成 26年 4月からは全国で新しい教科書を使ったカリキュラムを始め、それに伴い、平成 26年度の日医医療秘書認定試験から新教科書に沿った内容の試験が実施できる予定である。

滋賀県が今年から養成開始し、協議会加盟が 9県 12校となった。年々この数が増えるよう努力するとともに、診療報酬についても多くの医療機関が医師事務作業補助体制加算を付けられるように厚労省に対して働きかけていきたい。

報 告

1. 平成 23年度会務報告について
2. 常任委員会について
3. 日本医師会医療秘書認定試験委員会について
4. 各学院の現況調査結果について

調査結果に基づいて、各学院の担当者より現況が報告された。今回の調査では各学校が新入生確保のために実施している独自の取り組みや、質の高い医療秘書を養成するために実施されている独自のカリキュラムについても尋ねた。宮崎県からの報告は以下の通り。

- 1) 宮崎学園短期大学

2) 宮崎医療管理専門学校

宮崎学園短期大学、宮崎医療管理専門学校は不参加のため、牛谷常任理事より報告した。両校とも学生数は少しずつ増えている。今後学生数が増えることを期待している。

3) 都城コアカレッジ

都城市と東京に本社のある IT 企業が協同して設立した専門学校で、設立 25 年になる。現在、1・2 年生ともに定員割れしている。今年 3 月の卒業生の就職は 100% だった(事情により就職希望しなかった 1 人を除く)。学生達は地元志向が強いが、地方ということもあり医療機関における 4 月の定期採用は厳しい。タイミングさええば就職は可能だが厳しい現状である。12 月からのインターンシップ制もあるのでそれを利用しながら、就職内定をいただいたところで 12 月から働き始めて卒業を迎えるという形を取っている。

4) 医療保険請求事務実技試験委員会について

協 議

1. 平成 23 年度収支決算について(会計監査報告)
2. 平成 24 年度事業計画(案)について
3. 平成 24 年度収支予算(案)について

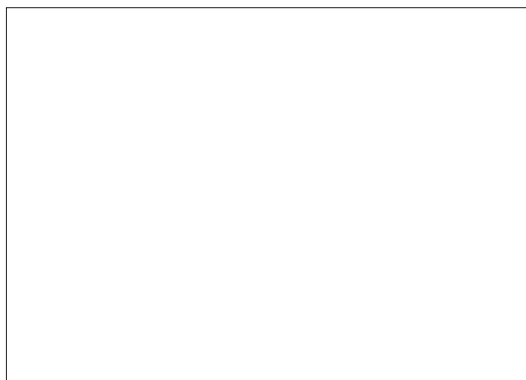
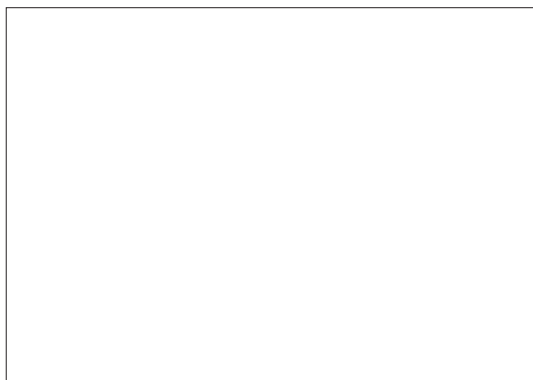
4. 次期当番県の決定について

1～4 について協議が行われ、提案通り承認された。次期当番県は山梨県に決定した。定例総会は平成 25 年 9 月 21 日(土)に甲府富士屋ホテルにて開催予定。

総 括(日医藤川常任理事)

各学院で様々な努力をして医療秘書養成に当たっていただいております、心からお礼申し上げます。現在厚生労働省でもチーム医療に関する議論が行われているが、医師を事務的に支える職種として医療秘書の重要性は今後さらに高まっていくと考える。新しい教科書も現在作成中で、やや遅れ気味だが、役割を十分に果たし得る医療秘書養成のために引き続き皆様方のご協力をお願いしたい。なお、養成の普及拡大については今年度から養成を開始した滋賀県に続いて、昨年オブザーバーとしてご参加いただいた福岡県が養成開始を目指しカリキュラムを調整中とのことである。また、大阪府の短期大学からも養成を開始したいとのご要望があり、本日は大阪府医師会事務局に出席していただいた。是非前向きに検討していただきたい。本日の議論を踏まえて今後も全国医師会医療秘書学院連絡協議会とともに医療秘書養成の問題に対応していきたい。

出席者 - 牛谷常任理事、喜入主事



薬事情報センターだより (306)

医薬品安全性情報

今回は、緊急安全性情報、安全性速報、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品安全対策情報について紹介いたします。これらは、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp/>)に掲載されていますので、当該ホームページから内容を閲覧することができます。また、医薬品医療機器情報配信サービス(PMDA メディナビ)に登録しておくと、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報が発出された時に、登録されたメールアドレスにその情報が配信されます。登録は、医薬品医療機器情報提供ホームページからできます。なお、配信される情報についても、配信項目(今回紹介する項目以外にも、「使用上の注意の改訂指示通知」「PMDA 医療安全情報」「回収情報」「承認情報」等)を自由に選択できます。

緊急安全性情報(イエローレター)

医薬品・医療機器について、所定の状況からみて、国民(患者)、医療関係者に対して緊急かつ重大な注意喚起や使用制限に係る対策が必要な状況にある場合に、所定の措置を実施するに当たって、厚生労働省からの命令、指示、製造販売業者の自主的な決定その他により作成されます。製造販売業者が厚生労働省及びPMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)と協議し作成します。また、医療関係者向けのみならず、原則として国民(患者)向け情報もあわせて作成されます。

平成 19 年 3 月 20 日に「タミフル服用後の異常行動について」が発出されて以降は新しいイエローレターは発出されていません(平成 24 年 9 月末現在)。

安全性速報(ブルーレター)

保健衛生上の危害発生・拡大の防止のため、緊急安全性情報に準じ、医療関係者に対して一般的な使用上の注意の改訂情報よりも迅速な注意喚起や適正使用のための対応(注意の周知及び

徹底、臨床検査の実施等の対応)の注意喚起が必要な状況にある場合に、所定の措置を実施するに当たって、厚生労働省からの命令、指示、製造販売業者の自主的な決定その他により作成されます。製造販売業者が厚生労働省及びPMDAと協議し作成します。また、使用形態を踏まえて必要に応じ、国民(患者)向け情報もあわせて作成されます。

最新のブルーレターは、平成 24 年 9 月 11 日の「ランマーク皮下注 120mg による重篤な低カルシウム血症について」です(平成 24 年 9 月末現在)。

医薬品・医療機器等安全性情報

厚生労働省は、医薬品の製造販売業者からの副作用症例報告及び研究報告又は医療関係者により収集・提出された副作用報告のうち、注目すべき副作用について、その解説及び「使用上の注意」の改訂・連絡等をまとめ、医薬品等のより安全な使用に役立てるために、医療関係者に対して情報提供します。1978(昭和 48)年 6 月から原則として隔月で発行され、2001(平成 13)年 6 月から月刊化されました。

医薬品安全対策情報(DSU Drug Safety Update)

平成 4 年 11 月に発刊され、日本製薬団体連合会が通常年 10 回発行しています。日本製薬団体連合会安全対策情報部会に参加している製薬企業が製造または輸入している医療用医薬品の、「使用上の注意」改訂に関する情報(改訂内容及び参考文献等)が掲載されています。病院、診療所、歯科診療所、保険薬局等約 233,000 施設に、直接郵送されています。

参考資料

緊急安全性情報等の提供に関する指針について(平成 23 年 7 月 15 日薬食安発 071 第 1 号)

日本の薬事行政 2012.8(日本製薬工業協会)
(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

日医インターネットニュースから

■ 過去最高の 3 兆円，前年度比 3.9% 増 — 10 年度国民医療費 —

厚生労働省が 9 月 2 日に発表した 2010 年度「国民医療費の概況」で，国民医療費が過去最高の 3 兆 4,202 億円となったことが分かった。前年度から 1 兆 4,135 億円，3.9% の増加となる。厚労省は 3.9% 増の内訳について，10 年度診療報酬改定率 0.19% の影響を除き，人口の高齢化が 1.6% 程度，医療の高度化や疾病構造の変化などその他の要因が 2.1% 程度とみている。

厚労省はこれまで「一般診療医療費」としていた診療種類別区分を，「医科診療医療費」と「療養費等」に分けて算出した。医科診療医療費は 2 兆 2,228 億円で全体の 72.7% を占めた。そのうち，入院医療費が 1 兆 908 億円（構成比率 37.7%），入院外医療費が 1 兆 1,320 億円（同 35.1%）だった。薬局調剤医療費は 6 兆 1,412 億円（同 16.4%），歯科診療医療費は 2 兆 6,020 億円（同 7.0%），入院時食事・生活医療費は 8,297 億円（同 2.2%），療養費等は 5,505 億円（同 1.5%），訪問看護医療費が 740 億円（同 0.2%）だった。

診療種類別伸び率を見ると，訪問看護医療費が 11.3% と最も大きく増加した。そのほか，病院の入院医療費の 6.4% や薬局調剤医療費の 5.5% などの伸び率が大きかった。一方，伸び率が小さかったのは一般診療所の入院外医療費の 0.7% や病院の入院外医療費の 2.5% など。

厚労省は伸び率の要因について，10 年度改定で医科入院がプラス 3.03%，医科外来がプラス 0.31% となったことが考えられるとしている。訪問看護医療費については，もとの額が小さかったとする一方，事業所数や利用者数が増加していると指摘した。

医科診療医療費を傷病分類別に見ると，最も多いのは「循環器系の疾患」で 5 兆 6,601 億円（同 20.8%）。以下，「新生物」の 3 兆 4,750 億円（同 12.8%），「呼吸器系の疾患」の 2 兆 1,140 億円（同 7.8%）と続いた。

制度区分別に見ると，医療保険等給付分が 1 兆 8,950 億円（同 47.8%）で最も多く，後期高齢者医療給付分が 1 兆 6,876 億円（同 31.2%），患者

等負担分が 5 兆 151 億円（同 13.4%），公費負担医療給付分が 2 兆 6,353 億円（同 7.0%）だった。

（平成 24 年 10 月 2 日）

■ 「医療現場の経験に期待」

— 新厚労政務三役に横倉会長 —

横倉義武会長は 10 月 3 日の定例会見で，野田第 3 次改造内閣で厚生労働政務三役 5 人のうち 3 人が医療関係職種の議員が占めたことについて「医療現場での経験を生かし，国民のために厚生労働行政をリードしてほしい」と期待感を示した。

厚労省政務三役には，薬剤師で病院経営者の三井厚労相を筆頭に，いずれも医師の櫻井充副大臣と梅村聡政務官が就いた。医師の梅村政務官が労働や福祉などを所管することについては，医師の立場から医療関係職種の労働問題に取り組んでほしいとした。産業保健分野などでの活躍も期待した。

医学部新設の議論がある新潟県から選出されている田中真紀子文部科学相に対しては「前大臣の発言の方針でいくかどうか注視したい」と述べ，医学部教育の在り方について役員が訪問して説明する考えを示した。平野博文前文科相は 9 月 11 日の閣議後会見で，医師不足・偏在の問題について「当面は医学部の定員増で対応する」と述べている。

横倉会長は内閣改造後の政権に期待することとして，社会保障制度改革国民会議に日医を参画させるよう求めた。このほか，公的医療保険制度を充実するには地域の実情を反映した自由度の高い制度設計をすべきと提言。医療計画の策定でも，現場の意見を尊重するよう求めた。

社会保障・税一体改革については，消費税の引き上げによって社会保障の財源を確保する方針を評価したが，医療機関の控除対象外消費税問題については改善が必要と要望した。

● 安倍総裁は皆保険の良さ認識している

横倉会長は自民党の安倍晋三新総裁についても見解を示した。安倍総裁は社会保障分野にも精通しているとの認識を示し「国民皆保険による

日本の医療制度の良さについて十分な認識を持っている方」と述べた。(平成 24年 10月 5日)

■男女の区別なく働ける環境を

— 医師会勤務医部会連絡協が宣言 —

日本医師会は 10月 6日、松山市で全国医師会勤務医部会連絡協議会を開き、男女の区別なく働ける労働環境の整備などを求めることを盛り込んだ「愛媛宣言」等について協議した。宣言は愛媛県医師会、11月に開かれる日医勤務医委員会で検討した上で、都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会で公表する。10日の定例会見で小森貴常任理事が報告した。

協議会には全国から 386人が出席。横倉義武会長が地域医療をテーマに講演したほか、国立がん研究センター名誉総長で中医協委員を務める嘉山孝正氏が「勤務医の処遇改善における課題と解決策案」と題して講演した。シンポジウムでは女性医師支援や医療メディエーション、都市部と遠隔地の救急体制をテーマに意見を交換した。

地元の研修医を交えた臨床研修医部会も開き、今村聡副会長や小森常任理事ら日医役員と研修医が自由に議論した。(平成 24年 10月 12日)

■国民皆保険の意義を強調

— 世界医師会総会で横倉会長 —

世界医師会(以下 WMA)総会が 10月 10日から 13日にかけてタイのバンコク市で開催された。11日の学術集会では、日本医師会長及び WMA 理事として出席している横倉義武会長が共同座長を務めた。

学術集会は、「メガシティ・メガヘルス?」をテーマに開催され、タイ、日本、アメリカ及び ASEAN からの演者による講演が行われた。

横倉会長は、座長挨拶の中で、2011年の国連統計で、全世界には人口 1,000万人以上のメガシティは 2都市あり、その中で東京圏が 1位で 3,720万人(推計値)であることを紹介。メガシティを抱える日本において、国民の健康長寿を支えてきたのは、1961年に創設された国民皆保険による医療保険制度であることを強調した。

次に、日本からの演者である大阪大学大学院の中村安秀教授について、母子保健の推進等、国際保健の場で積極的な活動を展開していること、また、本会国際保健検討委員会の委員、及び武見フェロー(1995年 - 96年)であると紹介した。

講演で中村教授は、「メガシティ・メガヘルス 東京の経験」と題し、日本における低い乳児死亡率の一因として母子手帳に言及。タイやインドネシア等、途上国の母子保健の改善のため、日本の母子手帳を定着させる活動を展開してきたことを説明し、その成果の一端を披露した。

また、国連開発計画(UNDP)が提唱した「人間の安全保障」の概念を用いて東京の事例を分析した結果を示し、そのなかで、人口の 20.4%が高齢者であり、20年で倍増しているとし、高齢化にどのように対処していくかが課題となっていることに言及した。

学術集会への参加者は、40の加盟国医師会から約 200名であった。(平成 24年 10月 19日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページでご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

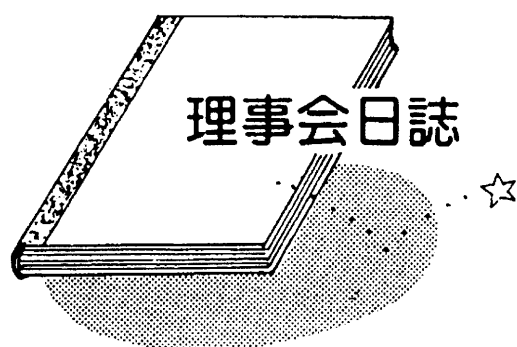
日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10桁の数字)を 0 も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の 6 桁の数字を半角で入力
例) 1935年 5月 1日 生まれの場合、310501



平成 24 年 9 月 4 日(火)第 14 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 9/2(木) 都城) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について
1 医療機関を対象に行われる病院の個別指導で、石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。
2. 宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について
多年にわたり公衆衛生活動に携わり、その功績が顕著である方を表彰するもので、4 名を推薦することが承認された。
3. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について
多年にわたり産科医療に従事し、地域の産科医療の確保・推進に貢献してきた医師を表彰するもので、1 名を推薦することが承認された。
4. 後援・共催名義等使用許可について
9/2(木) 都城市北諸県郡医師会館) 第 18 回宮崎県認知症かかりつけ医研修会共催のお願いについて
→ 認知症の医療とケアをテーマに一般演題やレクチャー等からなる研修会で、共催することが承認された。

10/26(金)・27(土) 宮崎市総合福祉保健センター他)「スミセイさわやか介護セミナー」後援名義の使用承諾について

→ 高齢者や障害のある方々の心と体に関する基礎知識や介護予防などを、県民に学んでいただくことを目的に開催されるセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

5. 9/11(火) 県医) 各都市医師会長協議会について

県の医療計画と衆議院議員総選挙への対応を協議していただくため開催する会長協議会で、進行及び説明者の確認が行われた。

6. 「ピンクリボン活動みやざき」に係わる協賛およびグッズ購入について

「乳がんの早期発見・早期治療」のメッセージを発し、行動に繋がる啓発活動を実施することを目的に行われる事業で、協賛することが承認された。

7. 九医連・九医学関連について

第 11 回九州医師会連合会総会における宣言・決議(案)について

→ 原案の確認が行われ、文言等の修正が行われた。今後、九州各県医師会への照会や九医連常任委員会等で検討を重ね、最終的に 11 月 24 日(土)の総会に提出する旨の説明が行われ承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 8 月末日現在の会員数について
3. 8/30(木) 県庁) 県障害者施策推進協議会について
4. 8/30(木) 県庁) 県腎臓バンク理事会について
5. 9/1(土) 宮観ホテル) 宮崎歯科技術専門学校創立 50 周年記念祝宴について
6. 8/29(火) 宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

- 7 . 8 /31(金) 県医 医師会立看護学校担当理事連絡協議会について
- 8 . 8 /30(木) 県医 予防接種委員会について
- 9 . 8 /30(木) 日医 日医公衆衛生委員会について
- 10 . 8 /29(水) 県医 医療計画プロジェクト委員会について
- 11 . 9 /4(火) 県庁 県医療計画策定委員会について
- 12 . 9 /4(火) 県医 治験審査委員会について

平成 24年 9月 11日(火)第 15回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

- 1 . 後援・共催名義等使用許可について
11/11日(県立看護大学)「 2012年度市民参加型フォーラム 」名義後援のお願いについて
→「人間らしく生きる, 自然な最期を迎えるために~最後まで口から食べたい~」をテーマに開催される市民参加型フォーラムで, 名義後援を行うことが承認された。
- 2 . 児童相談所と医療機関等との意見交換会にかかる出席者の推薦について
児童虐待の早期発見, 早期対応を主な目的に開催される意見交換会で, 県産婦人科医会, 県小児科医会, 県精神科医会, 県整形外科医会に人選をお願いすることが承認された。
- 3 . 平成 24年度「 大学間連携共同教育推進事業 」について
宮崎大学が北陸先端科学技術大学院大学, 久留米大学と連携し, 地域の医療現場と協働しながら, 主体的に考える人材を育成することを目的に実施される事業で, 連携機関として協力することが承認された。
- 4 . 11/4(日) 西都 平成 24年度宮崎県高等学校総

合体育大会男子第 65回・女子第 2回宮崎県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

開催地の西都市・西児湯医師会へ人選をお願いすることが承認された。

- 5 . 11/18(日) 西都 平成 24年度宮崎県中学校駅伝競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

開催地の西都市・西児湯医師会へ人選をお願いすることが承認された。

- 6 . 九医連・九医学関連について

9 /29(土) 宮観ホテル 九州医師会連合会第 32回常任委員会・平成 24年度第 1 回各種協議会について

→各会議への出席者と進行及び会場の確認が行われた。また, 当日開催される医療保険, 介護保険, 地域医療(防災対策・在宅医療・医療情報ネットワークの連携を含む)対策協議会については, 各協議会毎に座長と司会を確認, 今後, 進行等の調整を行っていくことが承認された。

第 12回日本医師会臨時代議員会(10月 28日)における九州ブロック代表質問・個人質問について

→現在, 九州各県に照会中で, 本会からの質問については, 稲倉会長一任となった。なお, 最終的には 9 /29九医連常任委員会で九州ブロックから代表質問 1 題(5 分以内), 個人質問 2 題(3 分以内)を決定することとなる。

(報告事項)

- 1 . 9 /5(水) 日医 日医地域医療対策委員会について
- 2 . 9 /8(土) 県医 園医部会総会・研修会について
- 3 . 9 /6(木) 県医 県糖尿病対策推進会議幹事会について

- 4 . 9 / 6 (木) 宮大 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会について
- 5 . 9 / 7 (金) 県医 女性医師委員会について
- 6 . 9 / 8 (土) サンホテル)「医療と消費税」市民公開講座について
- 7 . 9 / 10 (月) 県医 健康スポーツ医学委員会について
- 8 . 9 / 11 (火) 県医 治験理事会について

平成 24 年 9 月 18 日(火)第 16 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1 . 後援・共催名義等使用許可について

9 / 21 (金) 宮大)・ 22 (土) 南九大 第 12 回日伊科学技術宮崎国際会議 2012 の後援(名義)について

→日本・イタリアの科学技術の交流と日伊市民交流を目的に「発信！再生可能エネルギー活用を太陽の国宮崎から」と題し開催される国際会議で、名義後援を行うことが承認された。

2 . 県医師会館の日曜日等の会館貸与について

対応職員の勤務状況等を勘案した上で、11 月 3 日(土・祝日)の会館貸し出しを許可することが承認された。

3 . 業務委託について

平成 24 年度インフルエンザ定期予防接種に係る広域契約について

→市町村に住所のある高齢者等に対し、当該市町村が契約している地域医師会以外の医療機関におけるワクチン接種の機会を確保することを目的に実施される事業で、接種料金 3,600 円として各市町村と契約を進めることが承認された。

生活習慣病検診従事者研修事業に係る業務の委託契約について

→がん検診等における検診従事者の育成

及び確保、並びにがん検診等の診断技術の向上を目的に実施される研修事業で、契約を締結することが承認された。

4 . 本会外の役員等の推薦について

東九州メディカルバレー構想に伴う医療機関ネットワークのあり方検討会議委員委嘱について

→宮崎・大分両県が共同で策定した東九州メディカルバレー構想において、臨床データを一元的に管理・共有し、研究開発に活かせる体制の構築等を検討するため設置される会議で、荒木常任理事を委員として推薦することが承認された。

5 . 九医連・九医学関連について

9 / 30 (日) 宮崎カントリークラブ 九州医師会連合会親善ゴルフ大会について

→平成 24 年度第 1 回各種協議会の翌日開催される親善ゴルフ大会で、稲倉会長並びに吉田常任理事を加えた 5 組で開催することが承認された。

(報告事項)

1 . 9 / 6 (木) 小林 社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

2 . その他

9 / 18 (火) 県医 数値目標を踏まえた節電(H 24.7 / 2 ~ 9 / 7)への協力御礼と秋の発電所の点検、補修時並びに厳寒期の節電依頼について

平成 24 年 9 月 25 日(火)第 7 回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1 . 10 / 18 (木) JA A Z M 本館 社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

6 医療機関を対象に行われる個別指導で、上田理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会委員の推薦について

→前任者の辞任申し出による後任の推薦依頼で、県医師会選出の大腸がん部会委員として牛谷常任理事を推薦することが承認された。なお、任期は残任期間の平成 25年 11月 14日まで。

3. 後援・共催名義等使用許可について

H 25.2 /23土・ 24日(JA -A ZM 本館)第 8 回社会的ひきこもり支援者全国実践交流会in宮崎後援名義使用承認申請書について
→行政、民間、NPO の垣根を越え、社会的ひきこもりに対する理解と社会的支援を広げることを目的に開催される全国大会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 厚生労働省が行う「看護師特定能力認定制度」に関する意見募集について

厚生労働省の看護業務検討WGが作成した「医行為分類(案)」及び「教育内容等基準(案)」に対して意見を求めるもので、特定看護師等に関しては、責任の所在も曖昧で、定義等を含め問題も多いことから、全理事協議会のディスカッションを中心に担当理事が意見をまとめ、厚労省に提出することが承認された。

5. 医療法の改正に伴い県条例で定める病院等の人員及び設備の基準等(案)に係る意見について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の一環で、現行の国の基準を、従うべき基準と参酌すべき基準に分け、そのまま条例化するものではあるが、事前に各郡市医師会等から提出された指摘事項を踏まえ、意見として回答することが承認された。

6. 10・ 11月の行事予定について

10月の追加行事と 11月の行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9 /12火(支払基金)支払基金幹事会について

3. 9 /13水(東京)日本学校保健会評議員会・理事会について

4. 9 /15土(宮観ホテル)中村都英教授就任披露パーティについて

5. 9 /18火(日医)日医理事会について

6. 9 /23日(宮日会館)日本リウマチ財団宮崎地区リウマチ教育研究会について

7. 9 /20火(ひまわり荘)社会保険医療担当者(医科)の集团的個別指導について

8. 9 /24月(宮観ホテル)県有床診療所協議会役員会他について

9. 9 /20火(ひまわり荘)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

10. 9 /21金(宮崎空港)宮崎空港航空機事故消防救難総合訓練について

11. 8 /30火(南那珂)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

12. 9 /3月(県医)医学会誌編集委員会について

13. 9 /1(出)・ 2(日)福岡)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会について

14. 9 /15土(県医)産業医研修会(前期)について

15. 9 /14金(県医)広報委員会について

16. 9 /24月(県医)広報委員会について

17. その他

宮崎県で発生した麻疹の現況等について

9 /24月(県医)在宅医療に関する九州厚生局宮崎事務所との意見交換について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 10/10火(東京)衆議院議員江藤拓「希望ある未来を拓く」政経セミナーについて

東京の憲政記念館で開催される政経セミナーで、協力を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 9 /19火(宮観ホテル)三師会懇談会について

平成 24 年 10 月 2 日(火)第 1 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 11/20(火) 日医 平成 24 年度第 2 回都道府県医師会長協議会の開催について

稲倉会長は日医の理事となることから、代理として河野副会長が出席することが承認された。また提出議題については、稲倉会長並びに河野副会長に一任することとなった。

2. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県医療費適正化計画策定検討委員会委員の就任について

→高齢者の医療の確保に関する法律を根拠に、平成 24 年度までの現計画の見直しを行うと共に平成 25 年度から 29 年度迄の 5 年間の計画を検討するために設置される委員会で、古賀常任理事を委員として推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

「NPO 法人日本医師事務作業補助者研究会 第 4 回宮崎地方会」名義後援申請について
→医療事務作業補助者のスキルアップにより、医師の業務負担軽減や診療支援につながることを目的に開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 「診療に関連した予期しない死亡の調査機関設立の骨子(日医案)」案文の提示について

昨年 9 月のアンケート調査結果等を踏まえ、日医がまとめた骨子(案)に対する意見等の提出依頼で、地域の調査チームと中央の診療関連死調査機関との位置付けと連絡体制が不明確ではとの意見や、医師法第 21 条の改正が前提で、その進捗状況の確認が先との意見が出されたことから、日医に確認を行った上で改めて協議することとなった。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9 月末日現在の会員数について

3. 9/28(金) 県庁 県地域医療支援機構代表者会議について

4. 9/29(土) 宮観ホテル 九医連常任委員会について

5. 9/26(火) 宮崎労働局 労災診療指導委員会について

6. 9/29(土) 宮観ホテル 九医連各種協議会について

医療保険対策協議会について

地域医療対策協議会について

介護保険対策協議会について

7. 9/29(土) 宮観ホテル 九医連各種協議会報告会について

8. 「宮崎県医師会勤務医住宅ローン」のご融資利率改定について

9. 9/30(日) 宮崎 C.C. 九医連親善ゴルフ大会について

10. 9/27(木) 都城 社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

11. 10/1(月) 県庁 県准看護師試験問題調整委員会について

12. 9/27(木) 県医 自賠委員会について

13. 9/27(木) 県医 損害保険医療協議会について

14. 9/29(土) 愛知 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会について

15. 10/1(月) 県医 学術生涯教育委員会について

16. 10/2(火) 県医 治験審査委員会について

平成 24 年 10 月 9 日(火)第 18 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 11/1(木) 都城 社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、

池井常任理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 社会保険医療担当者(医科)個別指導の延期について

10月 18日に 6 医療機関を対象に行われる予定であった個別指導について、うち 1 医療機関の管理者が学会発表等の理由により不在のため、この医療機関のみ指導日を延期することが承認された。なお、残りの 5 医療機関については、予定通り 10月 18日に実施される。

3. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県公害健康被害認定審査会委員及び公害健康被害診療報酬審査委員の推薦について

→ 公害健康被害の補償等に関する法律等に基づき設置される委員会で、任期満了に伴い、認定審査委員会委員 3 名と診療報酬審査委員 2 名の推薦依頼があり、出盛允啓先生(再)、菊池郁夫先生(再)、古賀常任理事(新・認定審査委員会委員のみ)を推薦することが承認された。

4. 九医連・九医学関連について

九州医師会連合会第 329回常任委員会・第 104回臨時委員総会並びに九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会の開催について

→ 先の常任委員会で承認された 11月 23日(金・祝)～ 24日(土)に開催される前日諸会議について、日程・次第及び対象者の確認が行われた。なお、常任委員会に提出する報告・議題等については、会長一任となり、各会議の出欠確認は、後日、事務局から行うこととなった。

九州医師会連合会平成 24年度第 2 回各種協議会の開催種目について

→ 先の常任委員会で承認された平成 25年 1 月 26日(土)に開催予定の第 2 回各種協議会について、開催種目の照会を九州各県医師会に行った旨の説明が行われた。なお、本会から提出する開催種目については、本県が担当県でもあることから、各県の回答を踏まえ検討することとなった。

5. その他

「診療に関連した予期しない死亡の調査機関設立の骨子(日医案)」案文の提示について

→ 前回の常任理事協議会で検討された標記案文について、日医に、医師法第 21条の改正の進捗状況を確認したところ、法務省、警察庁に対して具体的な折衝は行っていない旨の回答であったとの報告があり、少なくとも関係機関の調整を平行して行うべきとの意見や日本法医学会の異状死の定義に対する対応等を踏まえ、担当理事が文案を作成し、会長と相談の上、本会の意見として提出することが承認された。

(報告事項)

1. 10/5(金) 県庁 精神保健福祉全国大会実行委員会について

2. 10/6(土) 北警察署 県警察医会総会について

3. 10/9(火) ひまわり荘 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会について

4. 10/4(木) 県総合保健センター 県健康づくり協会評議員会について

5. 10/5(金) 日医 日医医療秘書認定試験委員会について

6. 10/4(木) 県医 医療安全対策セミナーについて

7. 10/4(木) 県医 健康教育委員会について

(10月)

1	県准看護師試験問題調整委員会(石川常任理事) 学術生涯教育委員会(会長他)		
2	治験審査委員会(富田副会長他) 第17回常任理事協議会(会長他)	17	全体課長会(事務局) 日医有床診療所に関する検討委員会(日医) (河野副会長) 県健康づくり協会理事会(会長他) 県うつ病医療連携検討部会(吉田常任理事)
3	九州医師協同組合連合会親善観光準備会 (富田副会長他) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸理事)	18	地域医療現場における働きやすい環境を考える 会検討会(荒木常任理事) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(上田理事) 日医公衆衛生委員会(日医)吉田常任理事) 産業医研修会
4	日医社会保険指導者講習会(日医)上田理事) 県国民保護共同実動訓練グループ会議(事務局) 県健康づくり協会評議員会(富田副会長) 医療安全対策セミナー(会長他) 自賠委員会小委員会 健康教育委員会(会長他)	19	全国医師国保組合連合会全体協議会(福岡) 治験セミナー(会長他)
5	日医社会保険指導者講習会(日医)上田理事) 日医医療秘書認定試験委員会(日医)富田副会長) 精神保健福祉全国大会実行委員会(会長) 医師国保理事会(秦理事長他)	20	全国医師国保組合連合会全体協議会・観光 産業医研修会(実地)池井常任理事他) 九州医師協同組合連合会通常総会(会長他)
6	県災害医療従事者研修会(事務局) 全国医師会勤務医部会連絡協議会(愛媛) (荒木常任理事他) 県警察医会総会(会長)	21	九州医師協同組合連合会通常総会関連行事 (富田副会長他) 全国医師国保組合連合会全体協議会・観光
9	地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会 (河野副会長) 第18回常任理事協議会(会長他)	22	広報委員会(青木理事) 介護保険委員会(会長他)
10	支払基金幹事会(会長)	23	医協打合会(立元常任理事) 第20回常任理事協議会(会長他)
11	産業保健活動推進全国会議(日医)池井常任理事) 産業医研修会 県警察医会協議会 県内科医会学術委員会 県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)	24	日医地域医療対策委員会(日医)富田副会長) 日医周産期・乳幼児保健検討委員会(日医) (佐藤常任理事)
13	ICLS指導者養成ワークショップ(事務局) 日本臨床内科医会九州ブロック会議 産業医研修会(実地) 九州各県内科医会連絡協議会 九州各県内科医会審査委員懇話会(富田副会長) 県小児科医会秋季総会・学術講演会 (佐藤常任理事) 九州各県内科医会連絡協議会懇親会(会長他)	25	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会(石川常任理事) 宮崎市郡医師会例会・しのめ医学会・特別講 演会(会長)
13	他職種協働による在宅チーム医療を担う人材育 成事業における都道府県リーダー研修(東京)	26	日医医療秘書認定試験委員会(日医)富田副会長) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長)
14	九州各県内科医会親睦ゴルフ大会 ACLS研修会	27	国民保護共同実動訓練(古賀常任理事) 日医社会保険指導者講習会復讐(会長他)
15	県国民保護共同実動訓練事前会議(事務局) 県産業保健連絡協議会等(会長他) 九医学整形外科学会打合会 広報委員会(荒木常任理事他)	28	九州ブロック日医代議員連絡会議(日医)会長他) 日医臨時代議員会・臨時総会(日医)会長他)
16	医療機器開発/医療サービスに繋がるIT×医療 のためのネットワーク形成事業検討委員会 (荒木常任理事) 日医理事会(日医)会長) 九州医師協同組合連合会通常総会打合会 (立元常任理事) 第19回常任理事協議会(河野副会長他)	29	宮崎政経懇話会(会長) 県医療費適正化計画策定検討委員会(県庁) (古賀常任理事) 医療機能情報提供システム選定委員会(県庁) (富田副会長) 高次脳機能障がい講演会(会長他)
		30	県訪問看護推進協議会(古賀常任理事) 医協理事会(会長他) 第8回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 九州医師会医学会準備会(会長他)
		31	労災診療指導委員会(河野副会長) 宮大救命救急センター逆搬送体制構築協議会事 前打合会(富田副会長他) 県がん対策推進協議会(会長他) 児童相談所と医療機関等との意見交換会 (吉田常任理事他)

「新春随想」原稿募集

平成 25年 1, 2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。
この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願い致します。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。
本文に関連した写真・イラスト等(1 枚程度, カラー印刷はできません)
も掲載できます。

字 数 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご承知ください)

締 切 平成 24年 12月 7 日(金)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

原稿には「新春随想」と明記してください。

ご投稿の原稿が他紙に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。

掲載については, 広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
原則として, 原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨
ご指示ください。

日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス(genko@m iyazaki.m ed.or.jp)宛お送りください。もちろん, それ以外の方法(FAX, 郵便等)でお送りいただいても構いません。

「新春随想」である旨とタイトル, ご氏名を付記して下記の宛先にお届けください。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E m ail:genko@m iyazaki.m ed.or.jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

原稿送付の際は, 他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」
である旨とタイトル, ご氏名を明記の上お送りください。

追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

丸 田 祐 司 先生

(昭和 35 年 11 月 6 日生 5 歳)

弔 辞

本日ここに、故丸田祐司先生のご葬儀が執り行われるにあたり、先生のご霊前に、都城市北諸県郡医師会を代表し、心より謹んでお別れの言葉を申し上げます。

先生は、4 年程前にご病気をされましたが非常にお元気でられ、地域医療一筋にご活躍をされてこられました。先生が 1 か月半程前から体調を崩され、ご入院されているとお聞きいたしておりましたので、私ども会員一同、一日も早いご回復を念じておりました。

亡くなられる 5 日ほど前にご様態が急変され、医療スタッフの懸命な治療や奥様やご家族の手厚い看護にもかかわらず、先生は去る 9 月 25 日の午前 5 時 24 分に帰らぬ人となりました。突然の訃報を受け、私は、にわかには信じられず、ただただ、驚く他ありませんでした。

私共医師会にとっては、担当理事としてご活躍を期待していた先生を失うことになり、誠に痛恨の極みであります。

先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、最愛なるご主人様を亡くされた奥様、本会会員でもあられますお父様の丸田次郎先生をはじめ、ご遺族の皆様方のお悲しみは、察するに余りあり、お慰めの言葉もありません。私ども医師会員一同、心より哀悼の意を表する

次第でございます。

先生は、昭和 35 年 11 月 6 日、二人兄弟の長男として、地元都城市でお生まれになられ、長じて医学の道を志し、平成 4 年に藤田保健衛生大学医学部をご卒業後、同大学病院の消化器外科に入局され医師としてのスタートをされました。その後、平成 6 年に愛知県の豊田地域医療センターにて研鑽をつまれました。

翌年には藤田保健衛生大学病院、平成 10 年からは東京都町田市の町田胃腸病院に勤務されておられます。

また、平成 10 年 3 月には母校であります藤田保健衛生大学の大学院をご卒業され、医学博士号を授与されておられます。

平成 13 年 6 月には、地域医療に貢献されるべく、都城市広原町にて「ゆうクリニック」を開業されておられます。以来、医師として今日まで、11 年にわたり、地域医療にご尽力されてこられました。

先生は、私ども医師会活動におきまして、多忙な診療の傍ら、都城市北諸県郡医師会理事を本年 4 月からお引受けいただき、産業医・労災医部会、また、地域産業保健センターの担当理事として、産業保健活動に尽力され、更に、平成 26 年秋に予定しております、都城市郡医師会病院等の三施設移転の副担当理事としても多大なるご尽力をいただきました。

先生は看護師の養成にも積極的に取り組まれ、平成 1 年から 6 年間、都城看護専門学校の講師を務め、看護師の育成にも貢献をされています。

また、都城市立五十市中学校の学校医を平成 1 年から現在まで務め、児童生徒の保健衛生並びに健康管理に精力的に取り組まれました。

一方、診療を離れると先生は多趣味で夏にな

ると海でジェットスキー，冬はスキーを楽しんでいたと伺っております。学生時代には準硬式野球部に所属され，主将として西日本医科学学生総合体育大会に出場しご活躍されたそうです。

また，旅行もお好きで，最近では5月にご家族でスペインに行かれたとお聞きいたしております。

先生，これからは，遥か彼方より，ご家族の安泰とご繁栄，医師会の発展を末永く見守りください。

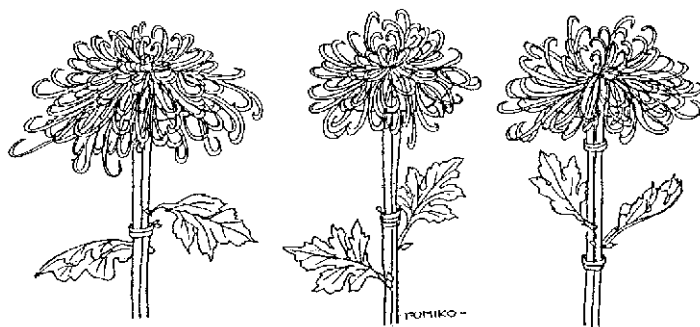
先生が担当理事として熱心に取り組まれた医師会病院移転事業に対する先生のご意見を心に刻み，会員，理事一同，完成まで努力することをお約束申し上げます。

最後に，先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます，お別れの言葉と致します。

平成 24年 9月 2日

都城市北諸県郡医師会

会長 飯 田 正 幸



追 悼 の こ と ば

西諸医師会

わた なべ ち あき
渡 辺 千 秋 先生

(大正 2 年 7 月 21 日生 100 歳)

弔 辞

本日、ここに故渡辺千秋先生の告別式が執り行われるにあたり、西諸医師会を代表致しまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れのことを申し上げます。

先生は、まだまだお元気なお姿でお過ごしのこととっておりましたところ、平成 24 年 9 月 30 日午前 0 時 12 分、ご逝去されたとの突然の悲報に、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

会者定離、生者必滅は世の常とは申しながら、享年 100 歳にして、先生は遼遠なる安息の地へと旅立ってしまわれたのであります。

私共医師会の長老として会員が等しく尊敬を申し上げます先生を、ここに失ったことは誠に痛恨の極みであり、長寿を全うされたとはいえ、奥様をはじめ、ご家族、ご親族の皆様のご心中如何ばかりかとお察し申し上げ、ただただ心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、大正 2 年 7 月 21 日、この世に生を享けられ、幼少にしてその才誉れ高く、長ずるに及び医学の道に志を立てられ、朝鮮総督府京城医学専門学校に進まれ、昭和 11 年 3 月、ご卒業になられたのであります。

同年 4 月からは軍医少尉として陸軍に所属され、関東軍東部国境地区部隊、東京都赤羽地区部隊、第百十二師団第二野戦病院等の勤務を経て、昭和 17 年 7 月には陸軍軍医少佐へ昇格されたのであります。その後、関東軍全州陸軍病院に内科主任として勤務、昭和 19 年からは関東軍琿春師団軍医部隊、終戦後の昭和 20 年 8 月から

旧満州の中共地区病院へ勤務され、負傷兵の治療に誠意、携わられたのであります。また、昭和 19 年には勲 5 等瑞宝章も受章されておられ、昭和 28 年 9 月に日本へ帰還、復員されたと聞いております。

その後同年 12 月には、現在の地に渡辺医院を開業されたのであります。先生はその後、現役を退かれるまでの長き歳月を地域医療のために、身を捧げられてこられたのであります。

その間、学校医として、長きにわたり児童生徒の健康管理、保健指導にも積極的に意を注がれ、そのご功績に対し平成 5 年には宮崎県知事より、学校保健及び学校安全表彰も受けておられます。また、先生の温厚誠実なお人柄は、地域住民にも敬愛され、厚く信望を集めておられました。

当医師会におかれましては、理事、副会長、本会立の小林准看護学校の校長等の要職を務められ、地域医療を担う看護師の養成など医師会活動にも積極的に貢献されたのであります。

先生は既に幽明境を異にされたとはいえ、先生がこれまで、地域医療の発展にご尽力された数々のご功績を、私共医師会員は決して忘れることなく、地域住民の医療、保健、福祉の発展に会員一丸となり、努力することをお誓い申し上げます。

惜別の情尽くしえませんが、ここに先生の長年のご功績とご功勞に敬意を表し、ご冥福と黄泉路が平穩でありますことを心からお祈りし、お別れの言葉と致します。

渡辺千秋先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 24 年 10 月 2 日

西諸医師会

会長 高 崎 直 哉

追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

ときとうたかひろ
時 任 高 洋 先生

(昭和 24年 3月 3日生 6歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き時
任高洋先生のご葬儀が執り
行われるにあたり、都城市
北諸県郡医師会を代表いた
しまして、謹んで先生のご
霊前に哀悼の意を表し、お
別れの言葉を申し上げます。

先生は、これまで地域医療一筋にご活躍をさ
れてされました。先生が一週間程前から体調
を崩され、都城市郡医師会病院にご入院されて
おられましたので、私ども会員一同、一日も早
いご回復を念じておりました。

しかし、去る 10月 9日の午後 9時 30分に奥様
やご家族の手厚い看護にもかかわらず、先生が
ご逝去されたとの突然の訃報を受け、痛恨の念
に絶えず残念で仕方ありません。

先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えら
れ、会員一同、深い悲しみに包まれているところ
でございます。

ましてや、最愛なるご主人様を亡くされた奥
様のお悲しみは、察するに余りあり、ご遺族の
皆様方のご悲嘆は、如何ばかりかと心中お察し
申し上げます。私ども医師会員一同、心より哀
悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和 24年 3月 3日、二人兄弟の長男
として、地元都城市でお生まれになりました。
長じて医学の道を志し、昭和 45年に久留米大学
医学部をご卒業され、同大学の泌尿器科に入局、

医師としてのスタートをきられました。昭和 47
年にはご実家である時任医院に帰られておられ
ます。その後、昭和 5年にはお父様の後を継が
れ時任泌尿器科医院の院長に就任され、また、
平成 18年から現在まで、医療法人恵心会永田病
院に勤務されています。

以来、医師として今日まで、永年にわたり、
地域住民の医療、保健、福祉の向上に貢献をさ
れてされました。

先生は、私ども医師会活動におきましても、
多忙な診療の傍ら、看護師の養成にも積極的に
取り組まれ、都城看護専門学校の役員を昭和 61
年から 8年間、また、講師を昭和 5年から 12年
間務められ、看護師の育成に多大なる貢献をい
ただきました。

一方、診療を離れると先生はスポーツがお好
きで、学生時代には、バレーボールや野球をさ
れていたと聞いております。特に野球をこよなく
愛され、大の巨人ファンで、プロ野球のテレ
ビ観戦も楽しんでいたそうです。

また、ゴルフや将棋もお好きで、ゴルフは会
員の先生方とよく行かれていたようです。

先生、これからは、遥か彼方より、ご家族の
安泰とご繁栄、医師会の発展を末永く見守りく
ださい。

最後に、先生がこれまで地域医療に捧げられ
ましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表
し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お
別れの言葉と致します。

平成 24年 10月 11日

都城市北諸県郡医師会

会長 飯 田 正 幸

みやざきメディカルトライアングル通信～働きやすい医療現場を目指して

平成 24 年度ワークライフバランスセミナー開催のお知らせ

宮崎県医師会常任理事 あら き さ なえ
荒 木 早 苗
だ て ゆかり
伊 達 紫

宮崎大学清花アテナ男女共同参画推進室 室長

医療現場における働きやすい環境づくりを目指し、県・宮崎市・県医師会は「地域医療現場における働きやすい環境を考える会」を設置し、定期的な協議を行っています。今年度は、同会の共催により、下記の通り県医師会主催によるセミナーを予定しておりますので、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

□医療従事者向けセミナー「医療現場のワークライフバランスセミナー」

医療現場において、男女を問わない働きやすい環境整備の必要性や実現に向け考える機会とすることを目的としたセミナーです。医師だけでなく（女性医師に限らず同僚や上司となる男性医師も）、看護師、病院の制度や経営等を考える事務長等の管理職の方もぜひご参加ください。

日 時 平成 24 年 11 月 13 日（火）18 30～20 15 《参加無料》

会 場 宮崎県医師会館

演 題 「女性医師支援から全ての医療スタッフのワークライフバランスへ」

NPO 法人 イーজেイネット 代表理事 滝野 敏子先生

□学生向けセミナー・交流会「知られざる後期研修を“聞く”“知る”“考える”」（仮）

宮崎大学医学科学生を対象に、宮崎大学医学部附属病院各診療科および基幹型臨床研修病院による「後期研修プログラム」のパネル展示およびプレゼンテーションを実施します。関係者と学生が自由に意見交換ができる交流会も開催する予定です。医師としてのキャリアを考える絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。

日 時 平成 24 年 11 月 28 日（水）16 30～18 30 《参加無料》

会 場 宮崎大学清武キャンパス 福利厚生棟 1 階 学生食堂

みやざきメディカルトライアングル WEB のご案内

宮崎県・宮崎県医師会・宮崎大学の協働により運営する「みやざきメディカルトライアングル WEB」では、働きやすい医療現場を実現するための情報提供のほか、女性医師や医師を目指す女性を対象としたコミュニケーションの場を用意しています。

内容は・・・ ▶子育て・介護に関すること ▶職場復帰に関すること
▶キャリアアップに関すること ▶働きやすい職場に関すること

Miya-joy コミュニケーション・ラボに登録できるのは・・・

□宮崎県に在住し医師免許を有する女性（休職中・離職中の方も含む）

□宮崎県に在住で医学部医学科在学中の女性

□宮崎県において医師として勤務した経験を持つ女性

□将来、宮崎県において医師として勤務する希望を有する女性 です。

みやざきメディカルトライアングル WEB はこちらから↓↓↓

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/kiyohana/mm-triangle/>

【事務局】 宮崎大学 清花アテナ男女共同参画推進室（室長：伊達 紫）

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200 TEL & FAX：0985-85-1252

E-mail: mm-triangle@med.miyazaki-u.ac.jp

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 24 年 10 月 15 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1 . 求職者登録数 5 人

1) 男性医師求職登録数 5 人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	2	1
放 射 線 科	1	1	0
整 形 外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0 人

2 . 斡旋成立件数 42 人

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 24 年 度	1	1	2
平成 16 年度から累計	30	12	42

3 . 求人登録 89 件 318 人 (人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	97	71	26
外 科	31	25	6
整 形 外 科	21	17	4
精 神 科	21	16	5
循 環 器 科	16	16	—
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	12	12	—
麻 酔 科	9	6	3
眼 科	9	7	2
放 射 線 科	11	10	1
小 児 科	6	5	1
呼 吸 器 内 科	5	5	—
リハビリテーション科	5	3	2
血 液 内 科	3	3	—
神 経 内 科	6	6	—
救 命 救 急 科	3	3	—
健 診	3	2	1
産 婦 人 科	2	2	—
泌 尿 器 科	1	1	—
検 診	2	—	2
皮 膚 科	2	2	—
人 工 透 析	2	2	—
耳 鼻 咽 喉 科	2	2	—
そ の 他	37	34	3
合 計	318	259	59

求 人 登 録 者 (公 開)

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
150005	医)わか会ピア・メンタル ささき病院	宮 崎 市	精	2	常勤・非常勤
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	2	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳,整,放,麻,内	8	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピアなんば病院	宮 崎 市	乳腺,内	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内,放	3	常勤
160031	医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼,神内,眼,耳,総診,呼外, 循,臨病	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	内,精	3	非常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	内,消内,内泌糖内,呼,放, リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,眼	2	常勤
170052	医)春光会	宮 崎 市	外,内	3	常勤
180061	医)あいクリニック	宮 崎 市	精	1	非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内	3	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	整,内,外	7	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化,外,総内,麻,放,精,整, 循	13	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,化療,リハ	6	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	内,外,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内,リハ	5	常勤・非常勤
220126	八代医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内	1	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230140	医)将優会 クリニックうしたに	宮 崎 市	外,内,整,家庭医,総合臨床	1	常勤
240141	医)博愛社 佐土原病院	宮 崎 市	内	1	非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都 城 市	内,泌	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,老内	2	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内,救急,放射,脳外,外, 総合	8	常勤
170042	医)豊栄会 豊栄クリニック	都 城 市	内,老内,精	3	常勤
170056	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都 城 市	循内,脳外,呼,神内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内,血内,循内,脳産婦, 耳鼻	9	常勤
180069	社)八日会 大悟病院	三 股 町	精,内	2	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼	4	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210108	特医)漱和会 みまた病院	三 股 町	内 消内 循皮 整 婦小 , 呼 放	10	常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外 内 麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 信愛医院	都 城 市	内	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
240142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内 リハビリ	2	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外 整外 皮 放 内 肝外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外 消内 緩ケア	4	常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内 外麻 精 神内 脳神経 , 老施 心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内 小 外 整	8	常勤・非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外 内 整 透	7	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230130	医)ラポール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内 放 外 小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整 内 心内 眼 健診 循 脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼 循 消内 外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼 麻 脳	10	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内 外 整	6	常勤・非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内 消内 神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精 内	2	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内 神内 整 外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内 循 呼 血内 健診 放 小	11	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外 内 整	4	常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整 内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内 神内 循内	3	常勤・非常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内 整	2	非常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 24 年 10 月 15 日現在

1．譲渡物件	宮崎市阿波ヶ原町前田 2633 番，2634 番 土地のみ：593.57 坪（2022.17m ² ）
2．賃貸物件	宮崎市曾師町 209-3（旧 田川内科医院跡地） 建物：鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35m ² ，2 階 166.69m ² 駐車場：10 台分
	延岡市大門町 188-1（旧 白坂内科医院跡地） 建物：鉄筋造平屋建 205m ² 駐車場：10 台分

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

- 1．取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
- 2．紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
- 3．申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
- 4．ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
- 5．斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地（宮崎県医師協同組合）

0985-23-9100（代）・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyou@miyazakimed.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24年 10月 31日現在

11				月				
1	木	10 00	社会保険医療担当者(医科)の個別指導	17	土	15 00	九州学校検診協議会専門委員会	国
		13 00	(日医)日医設立記念医学大会			16 00	都城看護専門学校創立 60周年記念式典	
		13 30	宮大経営協議会			17 00	九州各県学校保健担当理事者会	
		19 00	宮大経営協議会学外委員懇談会			18 00	日臨技九州支部医学検査学会開会式・懇親会	
2	金	19 00	宮大救命救急センター逆搬送体制構築協議会	18	日			
3	土	(文化の日)		19	月	14 00	産業保健推進連絡事務所運営協議会	保
		8 30	県医親善ゴルフ大会			19 00	県感染症危機管理研修会	
		13 30	県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会					
		14 00	全国医師協同組合連合会記念総会					
4	日	全国医師協同組合連合会記念総会関連行事		20	火	10 50	全医秘協医療保険請求事務実技試験(事務局)	査
		9 00	九医学記念行事・テニス大会			13 30	(日医)日医理事会	
5	月	19 00	産業医研修会	21	水	15 00	(日医)都道府県医師会長協議会	社
		19 00	生活習慣病検診従事者研修会			18 20	医協打合会	
		19 00	県内科医会誌編集委員会			19 00	第 23回常任理事協議会	
6	火	15 00	県医療計画策定委員会	22	木			保
		18 00	治験審査委員会					
		19 00	第 21回常任理事協議会					
7	水	19 00	顧問弁護士・会計士との懇談会	23	金	(勤労感謝の日)		社
8	木	16 00	九医連常任委員会	24	土	17 00	九医連臨時委員総会	
		19 00	県外科医会全理事会			10 00	九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会	
9	金	19 30	県産婦人科医会常任理事会	25	日	13 00	九州医師会総会・医学会	保
		13 00	全医秘協医療保険請求事務実技試験(事務局)					
10	土	10 00	全国学校保健・学校医大会	26	月	九医学科分科会・記念行事		審
11	日	10 00	世界糖尿病デー市民公開講座			19 00	広報委員会	
12	月	14 00	研修管理委員会	27	火	18 00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	査
		19 00	麻しんの検証会議・県医公衆衛生・感染症委員会			18 15	医協理事会	
13	火	15 00	県医療審議会	28	水	19 00	第 9 回全理事協議会	保
		18 30	医療現場のワークライフバランスセミナー			終了後	医協理事・運営委員合同協議会	
		19 00	第 22回常任理事協議会			13 30	看護師等医療従事者の「雇用の質」の向上のための企画委員会	
14	水	16 00	支払基金幹事会	29	木	15 00	労災診療指導委員会	審
		18 30	世界糖尿病デー県庁ライトアップ			16 30	メディカルトライアングルプロジェクト学生向けセミナー・交流会	
15	木	13 00	社会保険医療担当者(医科)の個別指導	30	金	18 30	県医会計監査	社
		19 30	広報委員会			18 30	宮崎銀行との懇談会	
16	金	19 00	産業医研修会			14 00	(日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	査
		19 00	医師国保理事会			15 00	(日医)日医医療秘書認定試験委員会	
						19 00	生活習慣病検診従事者研修会	

都合により 変更になることがあります

都合により、変更になることがあります。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24 年 10 月 31 日現在

12			月			
1	土	(日医)家族計画・母体保護法指導者講習会	15	土	9 00 指導医のための教育ワークショップ	↑↑
2	日		16	日	8 00 指導医のための教育ワークショップ	
3	月	19 00 医学賞選考委会	17	月	19 00 広報委員会	保 保
4	火	18 30 第 10回全理事協議会 19 20 各都市医師会会長協議会	18	火	14 00 (日医)日医理事会 18 00 治験審査委員会 19 00 第 24回常任理事協議会	審 審 査 査
5	水		19	水	9 10 全体課長会(事務局) 15 00 労災診療指導委員会	↓
6	木	19 00 県警察医会協議会	20	木		↓
7	金		21	金		
8	土	県産婦人科医会全理事会 15 00 生活習慣病検診従事者研修会	22	土	14 00 (日医)日医医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウム	
9	日	12 30 全国有床診療所連絡協議会役員会	23	日	(天皇誕生日)	
10	月		24	月		
11	火	18 30 第 11回全理事協議会 19 00 役職員懇談会	25	火	19 00 第 25回常任理事協議会	
12	水	16 00 支払基金幹事会	26	水	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
13	木	13 30 (日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会	27	木		
14	金	18 30 指導医のための教育ワークショップ 事前打合せ	28	金		
			29	土	(年末休業)	
			30	日	(年末休業)	
			31	月	(年末休業)	

都合により 変更になることがあります

都合により、変更になることがあります。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。
 アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
都 城 市 北 諸 県 郡 産婦人科医会 (1 単位) (CC 7 , 9)	11月 2 日(金) 19 00~ 20 30 ホテル中山荘	本年度の保険診療改定についての解説 月経困難症治療薬に関する最近の話題 宮崎大学医学部産婦人科学講師 山口 昌俊	主催 都城市北諸県郡医 師会産婦人科医会 ☎ 0986-22-0711
延岡医学会学術講 演会 (1.5 単位) (CC 52, 53, 73)	11月 2 日(金) 19 00~ 20 30 キャトルセゾン・ マツイ	実地診療における酸関連疾患治療 - 当院における経験を含め - 赤穂市民病院副診療部長・消化器科 部長 高尾 雄二郎	共催 延岡医学会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710 後援 延岡内科医会
第 40 回 宮 崎 県 耳 鼻 咽喉科懇話会 (2 単位) (CC 38, 39)	11月 2 日(金) 19 00~ 21 00 M R T m i c c	内耳の画像評価と対応 名古屋大学耳鼻咽喉科准教授 曾根 三千彦 難治性鼻・副鼻腔炎への対応 広島大学耳鼻咽喉科学・頭頸部 外科学研究室教授 平川 勝洋	共催 宮崎県耳鼻咽喉科懇 話会 グラクソ・スミス クライン(株) ☎ 080-1147-0270 後援 日耳鼻宮崎県地方部会 宮崎県耳鼻咽喉科医会
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研 修の専門研修会 2 単位) (2 単位) (CC 5 , 6 , 69, 70)	11月 5 日(月) 19 00~ 21 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 職場におけるラインケア - いわゆる新型うつ病対策 - 都城新生病院 前原 正法	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
平成 24 年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 がん検診 肺・乳 ・胃・大腸) (2 単位) (CC 2 ,11,12,82)	11月 5 日(月) 19 00~ 21 10 県医師会館(TV 会 議 : 都城・延岡・日 向・児湯・西都・西 諸・西臼杵)	非小細胞肺がんの外科治療と術後化学 療法 宮崎大学医学部循環呼吸・ 総合外科学助教 富田 雅樹 乳がん診療における早期発見の重要性に ついて 藤元早鈴病院乳腺診療センター 乳腺科 玉田 修吾 早期胃癌に対する内視鏡診断 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 三池 忠 大腸がん治療ガイドラインについて 古賀総合病院内科医長 増田 稔	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
宮崎市産婦人科 医会 11 月例会 (1 単位) (CC 9 ,84)	11月 5 日(月) 19 15~ 宮崎観光ホテル	子宮内膜症の長期治療戦略 - 腹腔鏡手術と薬物療法の位置付け - 日本医科大学産婦人科学教授 明楽 重夫	共催 宮崎市産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434 持田製薬(株)
第 75 回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 (1.5 単位) (CC 2 ,5 ,11)	11月 6 日(火) 18 45~ 20 20 宮崎観光ホテル	末梢動脈疾患における血管内治療 大分岡病院副院長・心血管 センター長 立川 洋一	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 大塚製薬(株)
西臼杵地区学術講 演会 (1 単位) (CC 76)	11月 6 日(火) 19 00~ ホテル高千穂	経口糖尿病薬をどう使い分けるか - インクレチン時代におけるメトホルミン の役割 - 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学助教 上野 浩晶	共催 西臼杵郡医師会 延岡市西臼杵郡薬剤師会 大日本住友製薬(株) (連絡先) 佐藤医院 ☎ 0982-73-2010

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 33 回がん治療カ ンファレンス特別 講演会 (1 単位) (C C 81)	11 月 7 日 (水) 17 50 ~ 19 00 県立日南病院	宮崎市郡医師会病院を中心とした緩和 ケアの取組み 宮崎市郡医師会病院内科科長 黒 岩 ゆかり	共催 県立日南病院 ☎ 0987-23-3111 協和発酵キリン(株) 後援 南那珂医師会
南那珂内科会医学 会 (1 単位) (C C 73)	11 月 8 日 (木) 18 50 ~ 20 00 南那珂医師会館	膠原病を見逃さないために むらい内科クリニック院長 村 井 幸一	共催 南那珂内科会 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 武田薬品工業(株)
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 (1.5 単位) (C C 50, 51, 52)	11 月 8 日 (木) 19 00 ~ 20 30 ホテル中山荘	N S A I D s , 低用量アスピリン起因性消化管 傷害の現況 筑波大学附属病院光学医療診療部長・ 病院教授 溝 上 裕士	主催 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711 共催 アストラゼネカ(株) 第一三共(株)
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (2 単位) (C C 9 , 57, 62, 78)	11 月 8 日 (木) 19 00 ~ ガーデンベルズ 小林	重症外傷ならびに脳卒中の救命率向上を 目指して 宮崎大学医学部救命救急センター長・ 教授 落 合 秀信	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会
第 24 回日向地区急 性期医療連携検討 会 (2 単位) (C C 50, 57)	11 月 9 日 (金) 19 00 ~ 21 00 日向市東臼杵郡医師 会館	外傷・急性疾患の C T 検査と I V R 宮崎大学医学部附属病院 放射線科助教 榮 建文 症例検討会	共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向地区急性期医療 連携検討会 ファイザー(株) 後援 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 11 回宮崎内視鏡 外科研究会 (2 単位) (CC 1 , 2 , 5 , 8)	11 月 9 日 (金) 19 00 ~ 21 00 宮崎観光ホテル 500 円	食道外科の up to date - Robotic surgery を踏まえて - 佐賀大学医学部附属病院 一般・消化器外科教授 能城 浩和	主催 宮崎内視鏡外科研究会 共催 ジョンソン・エン ド・ジョンソン (株) ☎ 092-441-3807
第 3 回宮崎大腸肛 門疾患研究会 がん検診 (大腸) (1 単位) (CC 55)	11 月 9 日 (金) 19 00 ~ 20 30 県医師会館	神経因性骨盤臓器障害 (NIS) の病態診断 治療 高野病院会長 高野 正博	共催 宮崎大腸肛門疾患研究会 武田薬品工業 (株) ☎ 0985-24-6763 天藤製薬 (株)
延岡医学会学術講 演会 (1 単位) (CC 74, 82)	11 月 9 日 (金) 19 00 ~ 20 45 ホテルメリージュ 延岡	糖尿病血管症阻止のためのトータルリス クマネージメント 久留米大学医学部 糖尿病性血管合併症病態・治療学 教授 山岸 昌一	共催 延岡医学会 アステラス製薬 (株) 日本ベーリンガー インゲルハイム (株) ☎ 0985-26-9363 後援 延岡内科医会
宮崎県精神科診療 所協会学術講演会 (1 単位) (CC 5)	11 月 10 日 (土) 18 50 ~ 20 00 宮崎観光ホテル	動機づけ面接 成増厚生病院診療部長 後藤 恵	共催 宮崎県精神科診療所協会 エーザイ (株) ☎ 0985-26-2676
「皮膚の日」講演会 (1.5 単位) (CC 1 , 2 , 9)	11 月 11 日 (日) 14 00 ~ 15 30 宮日会館	石ケン (化粧品類) , 花粉類 , ゴムを原因 とする食物アレルギー - アレルギーを正しく知ろう - 青木皮膚科 出盛 允啓	主催 宮崎県皮膚科医会 共催 日本臨床皮膚科医会 後援 厚生労働省 日本医師会 宮崎県医師会 NHK (連絡先) 青木皮膚科 ☎ 0985-23-2011

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
南那珂医師会生涯 教育医学会 (1 単位) (CC 13,74)	11月 12日(月) 18 50~ 20 00 南那珂医師会館	循環器疾患における治療と地域連携(仮) 県立日南病院循環器内科医長 西平 賢作	共催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 M SD (株)
医療現場のワーク ライフ・バランス セミナー (1.5単位) (CC 10,13)	11月 13日(火) 18 30~ 20 15 県医師会館	宮崎県における女性医師の現状と取り組みについて 宮崎大学清花アテナ男女共同参画 推進室室長 伊達 紫 女性医師支援からすべての医療スタッフ のワークライフバランスへ NPO 法人イージェイネット代表理事 瀧野 敏子	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎喘息講演会 (1 単位) (CC 46,79)	11月 13日(火) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル	シムビコートの抗炎症効果と喘息治療 国立病院機構福岡病院 臨床研究部長 下田 照文	共催 宮崎県内科医会 アステラス製薬(株) ☎ 0985-61-1537 アストラゼネカ(株)
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 (1.5単位) (CC 15,24,73)	11月 15日(木) 18 45~ 20 30 ホテル中山荘	新しいエビデンスから利尿剤治療を 見直す 兵庫医療大学薬学部医療薬学科 教授 辻野 健	主催 都城市北諸県郡医 師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 (株)三和化学研究所
第 72回江南医療連 携の会・症例検討 会 (1.5単位) (CC 10,53)	11月 15日(木) 19 00~ 20 30 社会保険宮崎江南 病院	当院で用いている胃病変に対しての 酢酸法について 宮崎江南病院放射線科部長 伊藤 泰教 最近の消化管出血症例 同病院内科部長 早稲田 文子 2012年肝胆膵手術症例について 同病院外科主任部長 秦 洋一	主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 4 回宮崎乾癬研究会 (1.5 単位) (CC 1 , 8 , 19)	11 月 15 日 (木) 19 30 ~ 21 00 宮崎観光ホテル 500 円	関節症性乾癬の最近の治療 福岡大学医学部皮膚科教授 中山 樹一郎	共催 宮崎乾癬研究会 田辺三菱製薬(株) ☎ 0985-32-9205
延岡医学会学術講演会 (1.5 単位) (CC 73, 76, 82)	11 月 16 日 (金) 18 50 ~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	眼底から診る内科疾患(仮) 宮崎中央眼科病院長 中崎 秀二 糖尿病治療 最近の話題(仮) 潤和会記念病院糖尿病・代謝内科 部長 水田 雅也	共催 延岡医学会 M SD (株) ☎ 080-5749-1210 後援 延岡内科医会
南那珂医師会地域 保健医学会 (1 単位) (CC 8)	11 月 16 日 (金) 19 00 ~ 20 00 南那珂医師会館	患者家族のクレーム・苦情にどのように 対応するか - コンフリクトマネジメントの考え方を 活かす - 大分大学医学部附属病院 看護部副看護部長 岐部 千鶴	主催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (1 単位) (CC 75, 82)	11 月 16 日 (金) 19 00 ~ 21 00 ホテルベルフォート 日向	頸動脈エコーで“ 診る ” - 動脈硬化の早期診断と脂質管理の 重要性 - 大阪大学内分分泌代謝内科学・ 代謝血管学・臨床検査診断学助教 片山 直人	共催 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 塩野義製薬(株) アストラゼネカ(株)
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研 修の専門研修会 2 単位) (2 単位) (CC 11, 23, 82, 84)	11 月 16 日 (金) 19 00 ~ 21 00 県医師会館	(4)健康管理 労働者の生活習慣病対策 都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 174回宮崎県泌尿 器科医会学術講演 会 (2 単位) (CC 1,9,10,84)	11月 16日(金) 19 00~ 21 00 ホテルJALシティ 宮崎	前立腺癌として剖検癌から臨床癌 , 外科治療の展望 東京慈恵会医科大学泌尿器科学 教授 瀬川 晋	主催 宮崎県泌尿器科医会 共催 武田薬品工業(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968
宮崎木曜会年末学 術講演会 (1.5 単位) (CC 50,52,53)	11月 22日(木) 19 00~ KITEN	食道・胃のESD - 術前から術後のKnow how - 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科部長・副院長・准教授 小野 裕之	共催 宮崎木曜会 アストラゼネカ(株) ☎ 080-3815-5763 第一三共(株)
西都市・西児湯医 師会学術講演会 (2 単位) (CC 10,13,77)	11月 22日(木) 19 00~ プリムローズ西都	骨粗鬆症患者の日常生活の質の向上(DXA 法を用いた診断と治療) 骨粗鬆症とビスホスフォネート製剤 当院におけるマンスリー製剤の使用経験 を含めて 三財病院副院長 松本 英裕	主催 西都市西児湯医師会 ☎ 0983-43-1687 西都市西児湯内科医会 小野薬品工業(株) 後援 公益財団法人 骨粗鬆症財団
九州医師会医学会 整形外科学会 日本整形外科学会 教育研修認定学会 (2 単位) (CC 1,11,72,84)	11月 24日(土) 17 15~ 19 15 シーガイアコンベン ションセンター	整形外科医にとって必要な運動器検診「宮 崎県の取り組み」 - 学童期・ロコモ・スポーツ検診 - 宮崎大学医学部整形外科学 教授 帖佐 悦男 一体改革と 2025年に向けた医療改革の方 向性及び診療報酬算定の基本・留意点 成尾整形外科病院副院長 浦門 操	主催 宮崎県整形外科医会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
学術講演会 (2 単位) (CC 11, 73, 75, 76)	11月 24日(土) 18 00~ 20 00 ホテルJALシティ 宮崎	血管エコー - 頸動脈・腎動脈・下肢血管 - 岸和田徳洲会病院生理機能検査室 副技師長 吉田 政富美 C 型慢性肝炎の最近の治療(仮) 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 岩切 久芳 心血管イベント抑制のための総合的治療 戦略 - 新たな糖尿病治療(DPP 4 阻害薬) の可 能性 - (仮) 熊本大学循環器内科学准教授 杉山 正悟	共催 宮崎県腹部超音波懇話会 MSD (株) ☎ 080-2406-9726 後援 宮崎県医師会
九州医師会医学会 内科学会 第 29 回 日本内科学会九州 地方会・第 46 回日 本内科学会九州支 部生涯教育講演会 (5 単位) (CC 24, 25, 27, 45, 66, 73, 82)	11月 25日(日) 8 30~ 17 00 シーガイアコンベン ションセンター	急性進行性糸球体腎炎症候群と ANCA (抗 好中球細胞質抗体) 関連血管炎 宮崎大学医学部血液・血管 先端医療学教授 藤元 昭一 悪性リンパ腫の診断と治療 福岡大学医学部腫瘍・血液・ 感染症内科学教授 田村 和夫 COPD の診断と治療の進歩 鹿児島大学呼吸器内科学教授 井上 博雅 生物リズムと生活習慣病 長崎大学循環病態制御内科学 教授 前村 浩二 ウイルス性肝炎診療のトピックス 鹿児島大学消化器疾患・ 生活習慣病学教授 坪内 博仁	主催 宮崎大学医学部内科学講座 免疫感染病態学 ☎ 0985-85-7284

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
九州医師会医学会 東洋医学会 第 38回日本東洋医 学会九州支部学術 総会 (5 単位) (CC 2 ,13,15,83)	11月 25日(日) 8 55~ 16 05 シーガイアコンベン ションセンター 5,000円	重症・難治性疾患からみた漢方入門講座 - 漢方医学の英知の紐解き方 - 熊本赤十字病院内科 加島 雅之 医学教育における漢方医学教育の歴史 宮崎大学医学部医学教育改革 推進センター 林 克裕	主催 日本東洋医学会九州支部 後援 宮崎県歯科医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県看護協会 (連絡先) 大森内科医院 ☎ 0983-22-0055
九州医師会医学会 外科学会 (3 単位) (CC 1 ,2 ,10, 47,57,84)	11月 25日(日) 9 00~ 12 20 シーガイアコンベン ションセンター	歯科口腔外科の現状 宮崎大学医学部長 迫田 隅男 進化する乳癌の分類 - 生物学的理解と治療戦略から - プレストピアなんば病院理事長・ 院長 駒木 幹正 日本臨床外科学会の取り組み 日本臨床外科学会長 跡見 裕 院内感染と医療経済 同学会副会長 炭山 嘉伸	主催 宮崎県外科医会 ☎ 0985-22-5118
九州医師会医学会 小児科学会・第 65 回九州小児科学会 (2 単位) (CC 1 ,5 ,69,72)	11月 25日(日) 9 00~ 12 00 シーガイアコンベン ションセンター	外来小児科でのリサーチは面白い 杉村こどもクリニック院長 杉村 徹 子どもに対する認知行動療法 広島大学教育学研究所心理学講師 尾形 明子	共催 九州小児科学会 宮崎県小児科医会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
九州医師会医学会 産業医学会(基礎 研修の後期研修 会,生涯研修の更 新および専門研修 会 5 単位) (5 単位) (CC 1,3,4, 7,8,9,11,38)	11月 25日(日) 9 30~ 15 00 シーガイアコンベン ションセンター	(1)総論(基礎後期) (1)労働衛生関係法規と関係通達の改正 (生涯更新) 労働安全衛生法関係法令 宮崎労働局労働基準部健康安全課長 西本 耕一 (7)作業管理(基礎後期・生涯専門) 危険有害物に関するリスク管理 福島県立医科大学衛生学・ 予防医学教授 福島 哲仁 (6)作業環境管理(基礎後期・生涯専門) 騒音難聴とその対策 宮崎大学医学部公衆衛生学教授 黒田 嘉紀 (1)総論(基礎後期・生涯専門) 企業を元気にする産業医活動 日本ヘルスサイエンスセンター 代表 石川 雄一 (1)総論(基礎後期) (1)労働衛生関係法規と関係通達の改正 (生涯更新) 化学物質取り扱い者の健康診断 産業医科大学医学部産業衛生学 教授 川本 俊弘	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
九州医師会医学会 産婦人科学会 (4 単位) (CC 1,7,8, 9,10,71,84)	11月 25日(日) 10 00~ 14 10 シーガイアコンベン ションセンター	産婦人科疾患と臨床遺伝 宮崎大学医学部産婦人科学講師 山口 昌俊 母体安全への提言 2011 三重大学産婦人科教授 池田 智明 妊婦、褥婦における乳房検診方法の意義 千川産婦人科医院院長 土橋 一慶 超音波併用マンモグラフィ検診 プレストピアなんば病院放射線科 中原 浩	主催 宮崎県産科婦人科学会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
JPA P [®] 医療従事者 向けプログラム Pain Academy TM 第 25回ペインカン ファレンス (3 単位) (CC 1 , 5 , 10 , 80, 81, 84)	11月 25日(日) 13 00~ 16 00 M R T - m i c c	がんの疼痛治療の実際 - 症例から学ぶ - 宮崎大学医学部麻酔科 田中 信彦 古賀総合病院外科医長 菅瀬 隆信 和田病院緩和ケア内科医長 高橋 稔之 藤元早鈴病院緩和ケア・在宅療養科 部長 馬見塚 勝郎	主催 Japan Partners Against Pain [®] ☎ 03-5759-6494
延岡医学会学術講 演会 (1 単位) (CC 11, 28)	11月 27日(火) 19 00~ 21 00 ホテルメリージュ 延岡	インフルエンザ感染症の最近の話題 前 自治医科大学小児科学教授 四元 茂	共催 延岡医学会 県北産婦人科医会 グラクソ・スミス クライン(株) ☎ 080-1015-5168
地域連携パス合同 講演会 (1 単位) (CC 10, 13)	11月 30日(金) 18 30~ 19 40 県立日南病院	リクシアナ錠の使用経験について(仮) 県立日南病院整形外科副医長 福田 一 地域連携パスの作成・運用と実践 - 分析・フィードバックとその効果 - 黒部市民病院関節スポーツ外科 部長 今田 光一	共催 県立日南病院 ☎ 0987-23-3111 第一三共(株) 後援 南那珂医師会 南那珂整形外科疾患協議会 南那珂糖尿病連携 ネットワーク会議 南那珂脳卒中連携の会
平成 24年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 がん検診(肺・乳 ・胃・大腸) (2 単位) (CC 2 , 11, 12, 82)	11月 30日(金) 19 00~ 21 10 県医師会館(TV 会 議 : 延岡・児湯・南 那珂・西諸)	非小細胞肺がんの外科治療と術後化学 療法 宮崎大学医学部循環呼吸・ 総合外科学助教 富田 雅樹 乳がん診療における早期発見の重要性に ついて 藤元早鈴病院乳腺診療センター 乳腺科 玉田 修吾 早期胃癌に対する内視鏡診断 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 三池 忠 大腸がん治療ガイドラインについて 古賀総合病院内科医長 高平 尚弘	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
大悟病院認知症疾患医療センターかかりつけ医研修会 (1.5 単位) (CC 13,14,29)	11 月 30 日 (金) 19 00 ~ 20 30 都城市北諸県郡医師会館	地域包括支援センターにおける医療機関とその連携 都城市山田・高崎地区 地域包括支援センター社会福祉士 内田 文子 精神科専門医療機関への紹介を必要とした 2 症例 柳田クリニック 柳田 美津郎 専門医療機関からのお願い 大悟病院認知症疾患医療センター 井上 輝彦	共催 大悟病院認知症疾患医療センター 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711
第 76 回宮崎市郡医師会心臓病研究会 (1.5 単位) (CC 1,9,15)	12 月 5 日 (水) 19 00 ~ 20 30 宮崎観光ホテル	致死性不整脈に対するトータル治療 筑波大学医学医療系循環器内科 教授 青沼 和隆	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 日本メドトロニック㈱
平成 24 年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会 がん検診(肺・乳・胃・大腸) (2 単位) (CC 2,11,12,82)	12 月 8 日 (土) 15 00 ~ 17 10 県医師会館(TV 会議 : 都城・延岡・日向・児湯・西都・西諸)	非小細胞肺がんの外科治療と術後化学療法 宮崎大学医学部循環呼吸・ 総合外科学助教 富田 雅樹 乳がん診療における早期発見の重要性について 藤元早鈴病院乳腺診療センター 乳腺科 玉田 修吾 早期胃癌に対する内視鏡診断 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 安部 弘生 大腸がん治療ガイドラインについて 古賀総合病院内科医長 高平 尚弘	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 6 回はまゆう 整形外科セミナー (1 単位) (c c 2 , 72)	12 月 8 日 (土) 17 30 ~ 18 30 宮崎観光ホテル	整形外科医のための漢方医学 (基礎) 宮崎大学医学部整形外科助教 濱田 浩朗 小児整形外科治療について 宮崎県立こども療育センター 所長 柳園 賜一郎	主催 はまゆう整形外科セミナー (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
第 65 回 宮崎 整形 外科懇話会 (1 単位) (c c 57 , 77)	12 月 22 日 (土) 18 00 ~ 19 00 県医師会館 1,000 円	高齢者の大腿骨近位部骨折の新分類と 治療の注意点 公立玉名中央病院長・企業長 中野 哲雄	主催 宮崎整形外科懇話会 共催 宮崎県整形外科医会 大日本住友製薬 (株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986

日本医師会生涯教育カリキュラム (2009)

カリキュラムコード (略称 c c)

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師 - 患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害 (うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便秘異常 (下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療 (漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

診療メモ

学校における運動器検診の役割と実際

宮崎大学医学部感覚運動医学講座
整形外科科学分野ちようさ えつ お やまもとけい た ろう やまぐち な み
帖佐 悦男, 山本恵太郎, 山口 奈美

概 要

宮崎県で医師会や学校関係者などのご協力を得て実施している学童期運動器検診について紹介する。宮崎県で 200 年度から実施している「学校における運動器検診」の役割は、運動の過多と過少の二極化現象により運動器の発育・発達に障害されつつある中、「小児運動器疾患・傷害の予防」を達成し、児童・生徒の心身の健全な発達を促進させ、ロコモティブシンドロームやメタボリックシンドローム予防に繋げることである。宮崎方式は、対象者全員のアンケート調査および直接運動器検診を実施し、その結果から二次検診としての医療機関受診を判断している。検診までの流れ(図 1)や方法(図 2)を示す。2011 年度までに約 19,000 名を検診(図 3)しその概要を示す(表 1, 2)。推定罹患率は約 10% であった(表 2)。現在疼痛ありは約 10% で、膝、足や腰部に多く全身にわたり認めた。異常項目としては、脊柱変形(約 10%)・下肢変形(約 2%)が多く、その他は肘関節可動性異常・上肢変形・肩関節挙上困難や歩容異常などであった。機能不全として、しゃがみ込み動作不可能を約 10% に認めた(図 4)。また、学校や個人への検診結果の報告以外にも講話活動を行い、運動器の重要性や「動く喜び、動ける幸せ」の啓発活動を行っている。学校側の運動器検診の評価に関し、「必要か?」の問に「思う」「やや思う」という肯定的な意見は、2008 年度が 75% であったが、それ以

降は約 90% が必要と回答し必要性を感じていた。他の検診における被患率(う歯 約 60%, 近視 6 ~ 20%, 耳疾患 3 ~ 5%, 眼疾患 約 4%, 喘息 約 4%, 心疾患 約 1%, アトピー性皮膚炎 約 3%)と比較しても同程度であり運動器検診の必要性が考えられる。対象に関し、スポーツ障害が多いため運動クラブに所属している生徒のみの検診が効率的との意見もあるが、運動部へ所属していない生徒にも姿勢異常や運動器の異常を認めた。実施方法に関しては、行政や医師会の協力もあり継続的に実施することで様々な点が改善されつつある。しかし、実施に必要な時間や検診自体が法制化されていないことによるマンパワー不足や経費などの問題があり、今後検討する必要がある。

謝辞 本事業にご理解やご協力頂いている児童・保護者、学校関係者、宮崎県医師会(検診助成を含む)、地区医師会、教育委員会、行政(県市町村)や大学関係者、その他関係機関・スタッフの皆様へ深謝致します。

参考文献

- ・武藤芳照ら 学校における運動器検診ハンドブック 南光堂, 2007
- ・山本恵太郎ら 学校における運動器検診の実施について(2007-2008 年度) 宮崎県医師会医学雑誌; 34(1) 59-66, 2010

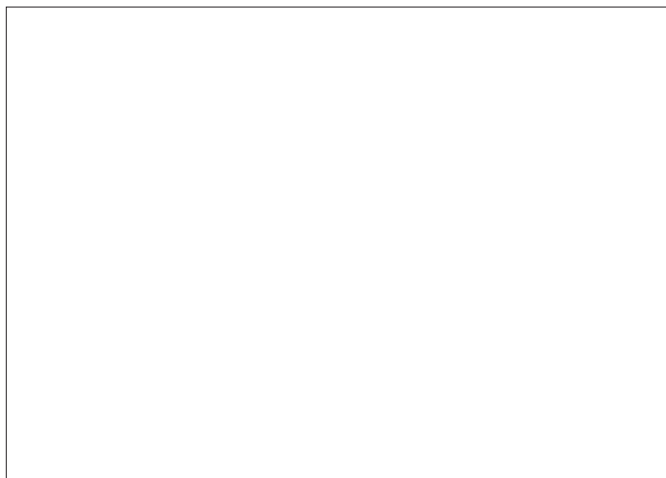


図 1 運動器検診の実施日程(宮崎県)

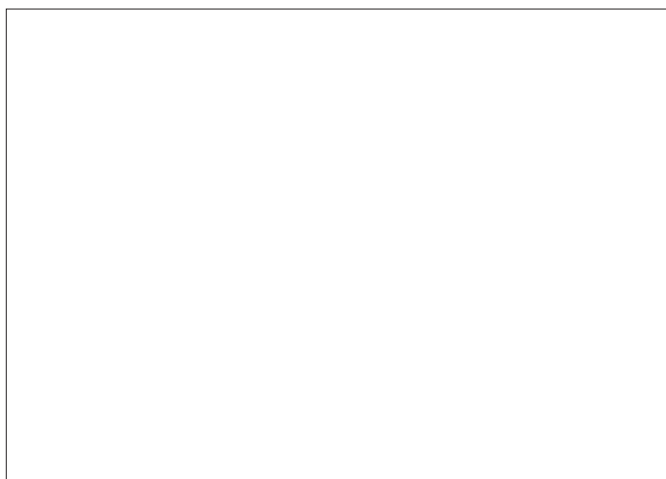


図 2 検診システムの方法(2011年度 ~)

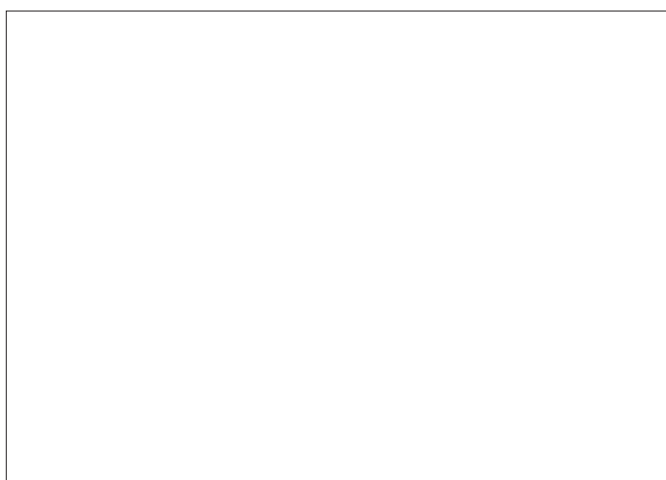


図 3 運動器検診対象者(2007~ 2011年度)

表 1 運動器検診概要 1(2007~ 2011 年度)

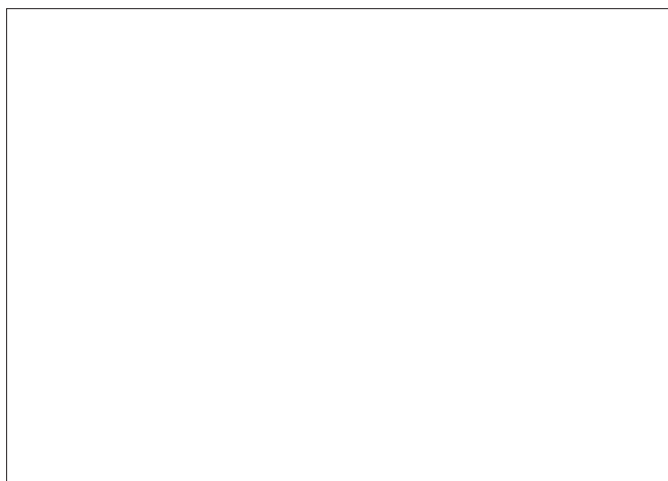


表 2 運動器検診概要 2(2007~ 2011 年度)

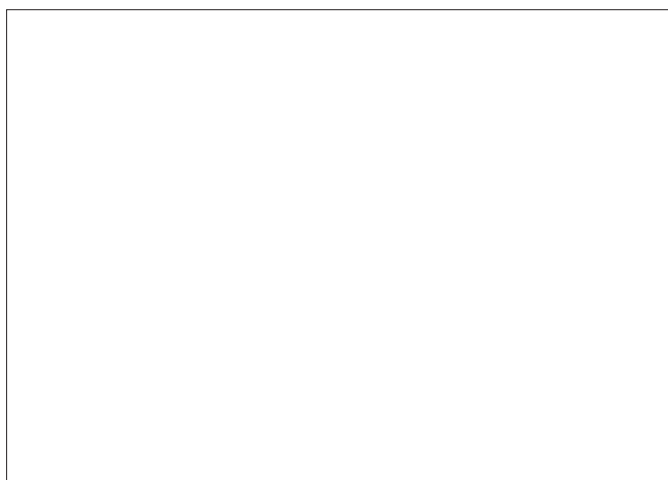
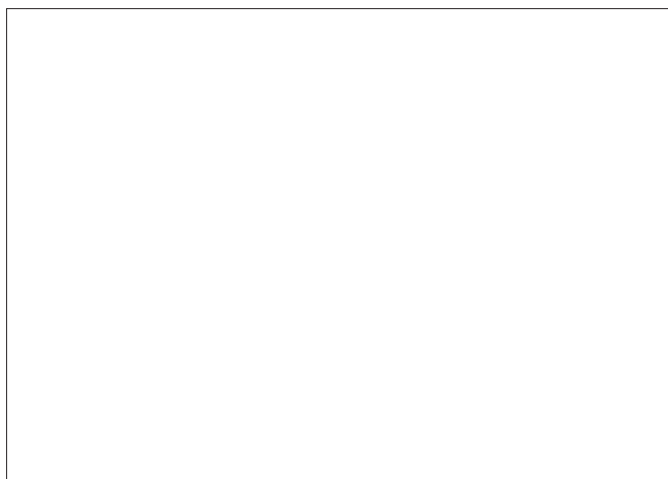


図 4 一次検診チェック項目(2011 年度)

お知らせ

県医師会在宅医療協議会入会のご案内

県医師会在宅医療協議会は、在宅医療に携わる医師の知識向上、情報交換、並びに在宅医療の普及を目的に本年 5 月に会員 130名をもって設立されました。

年数回の研修会開催のほか、現在は地域ごとの在宅医療ネットワーク構築に向け、役員、世話人が奔走しています。また、在宅で困っていること、多職種連携の方法など会員同士の情報交換のためにメーリングリストを運用しています。

ご興味のある先生は、ぜひご入会いただき、いっしょに在宅医療を推進していきましょう。ご入会につきましては、県医師会地域医療課に入会申込書をご請求ください。

* 協議会に入会済みでメーリングリストに加入されていない先生は、事務局までメールアドレスをお知らせください。

宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ

宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館 1 階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の 2 週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県医師会

TEL 0985 - 22 - 5118

FAX 0985 - 27 - 6550

担当 高山・小川

お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。また、M M A 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時ご案内しておりますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会 (<http://www.miyazakimed.or.jp/>) にアクセス

県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック

ユーザー名 医籍登録番号を入力

パスワード 生年月日(西暦の下二桁と月日)を入力(初期設定)

例) 1950 年 11 月 2 日生まれの場合, 501102

M M A 通信への登録をご希望の方は、県医師会地域医療課までご連絡ください

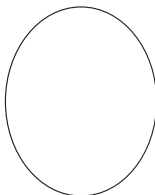
(TEL 0985-22-5118)。

送付日	文 書 名
10 月 1 日	・財務省共済組合員証の無効について(通知) ・医師等の資格確認の徹底について ・組合員証の亡失についてのお知らせ
10 月 2 日	・新種のコロナウイルスによる感染症の発生について
10 月 5 日	・組合員証の亡失についてのお知らせ
10 月 9 日	・医療機能情報提供制度実施要領の一部改正について(通知) ・救命救急センターの評価結果(平成 24 年度)について ・医療機関、薬局及び保険者における診療報酬明細書(レセプト)等の個人情報の適切な取扱いについて ・「JAHS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver.1.0」の公開について(情報提供)
10 月 10 日	・医療法第 25 条に基づく立入検査結果について(平成 24 年度) ・予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行等について ・「巡回診療の医療法上の取り扱いについて」及び「医療機関外の場所で行う健康診断の取扱いについて」の改正について

送付日	文 書 名
10月 12日	・医療安全推進週間(11月 25日 ~ 12月 1 日)について ・医療事故情報収集等事業第 30回報告書の送付について ・医療機関のホームページの内容の適切なあり方に関する指針(医療機関ホームページガイドライン)について(通知) ・東京電力「本補償」の生命・身体的損害に関する請求に係る指定診断書(医療証明書)の提出変更について
10月 15日	・インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動の情報収集に関する研究に対する協力について
10月 16日	・平成 24年度下半期におけるセーフティネット保証 5 号の業種指定の取扱等について ・「非医療従事者による自動体外式除細動器(A E D)の使用について」の一部改正及び「自動体外式除細動器(A E D)の講習内容の取りまとめについて」の廃止について ・平成 24年度「児童虐待防止推進月間」の実施について
10月 19日	・宮崎県地域がん登録モデル事業参加医療機関の募集について(依頼) ・麻しん風しんの第 3 期・第 4 期予防接種の促進について ・インフルエンザ疾患関連死亡者数迅速把握事業について
10月 22日	・一般社団法人日本医療安全調査機構の安全情報「警鐘事例」について
10月 23日	・文部科学省スポーツ・青少年局関係の勲章及び褒章の推薦手続きについて(周知依頼) ・第 18回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について ・平成 24年度宮崎県神経難病医療従事者研修会の開催について(ご案内)

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a , e	a	b	c	b	b	e	c	a	e



知らないのかもしれない、と想像することは、大事だと思います。

厳しい医療情勢の中、医療側から数多くのメッセージが発信され、最近では医療を受ける側の認識不足がしばしば語られるようになっていきます。

なんでこんな時間に受診をするのだろう？ どうしてこんなに軽い症状で、大病院にかかるのだろう？ お金

を払ってるんだから文句を言うな、ってあなた全部払ってるんじゃないでしょう？

そうでしょう。そうでしょう。患者さんは勝手にわかってないですよ。困ったものですよ。

そうでしょうか？

患者さんやそのご家族は、知らないのではないのでしょうか？

保険診療は、助け合いのシステムであること。

体調管理の方法。病院のかかり方。

いろいろな方々の努力で、少しずつメッセージは伝わってきていると思いますが、多くの健康な、普通に暮らしている人びとにはまだまだ届いていないのかもしれない。

健康に生きていくために必要な知識の習得や医療を支えるシステムの理解は、国語や算数の理解と同様です。知らないことを知り、生きていく力にするのは教育だと思います。教育というと上から目線と言われそうですが、生きる力は啓発されるものではなく、必死に身につけるものと考えます。

そのためにわれわれ医療の専門家はプロとして何が出来るか、考え続けていかなければならないでしょう。

(姫路)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

最近、アルコールの楽しみ方を覚えました。焼酎を芋や米などの原料や出身地で楽しむことから始まり、同じ蒸留酒であるウイスキー(麦)やブランデー(葡萄)、パーボン(トウモロコシ)にまで興味の対象を拡げた結果、あらたな「癒しの時間」を手に入れることができました。「酒は良薬、良薬は口に苦し、されど酒は甘し」。なんだか人生得した気分ですが、休肝日がストレスに感じる今日この頃...、これでは本末転倒ですね。

(尾田)

＊ ＊ ＊

「問答無用」ということなのでしょう。イスラム世界での女性の人権向上を訴えた少女が銃で撃たれた事件は衝撃的でした。最低な男たちです。彼の地だけではありません。沖縄でもまた女性の人権が蹂躪されました。何度繰り返されても「再発防止のお願い」しかできない日本の指導者たちも情けない人々です。でも、弱者に対しては消費税増税も原発再稼働もオスプレイ配備も、結局「問答無用」です。もしかしたら TPP も問答無用で押し通すつもりでしょうか。少女の意識が戻ったというニュースだけが救いです。

(上野)

＊ ＊ ＊

いつまでも夏気分でしたが、10月も半ばとなると、急に寒くなり、エアコンの集中コントロールを暖房に切り替えた。夏の間頑張った朝顔やゴーヤもすっかり枯れはて後片付けをした。花は綺麗であったが、日差し避けには葉の茂りが今一で、来年の課題とした。日差し避けにはヨシズは最高であったが、今年の台風がらみの雨で、紐の部分が腐り、耐久年数は2年か？中国製で安価であり、長持ちすると売れなくなるのでこんなものかと思う。誰の知恵だろうか？

(篠原)

＊ ＊ ＊

ポリクリもようやく後半戦に差し掛かりました。これまでいろいろな科を回ってきましたが各科の先生方の仕事を見学させていただく度、数年後自分もあのようになれるのだろうかと不安に思っております。しかし担当患者さんとお話をさせていただくと、自分も早く何かできるようになりたいともどかしくなってきます。残り1年数か月、悔いのない学生生活を送っていききたいと思います。

余談ですが最近イオンにペットショップができました。疲れたときはワンちゃんを見物に行行って癒されております。

(藪内)

＊ ＊ ＊

近頃は朝晩涼しくなり、日中は雲ひとつない晴天で、秋らしい日が続いていますね。趣味のジョギングもさらに気持ちよくなりました。ジョギングといえば、最近は大規模なマラソン大会が全国各地で開催され、さらに各大会で抽選が行われるほど人気があります。健康維持やダイエットといった効果はよく耳にしますが、走ることで仕事や勉強の効率が上がるという効果もあるらしいです。実際に私は良い気分転換にはなっていますが、心地よい天候と疲労のため、そのままお昼寝というのが最近の習慣になってしまっています。

(湯淺)

＊ ＊ ＊

本誌のカットは、高宮病院の武藤先生の奥様、布美子様(昭和 59 年 7 月から)と故 齋藤幸先生の作品を使わせていただいております、とても好評です。さらに新しい作品も募集していますので皆様ぜひお寄せください。また漫画などがあると紙面が楽しくなって良いかなと思います。隠している？才能を皆さんのためにご披露ください。

(青木)

＊ ＊ ＊

今 月 の ト ピ ッ ク ス

国公立病院だより 県立延岡病院

県北地域の二次・三次医療を担う基幹病院である県立延岡病院から、平成 19年 11月号に続き 2 回目のお便りをいただきました。楠元志都生先生が病院長として赴任された当時を振り返りつつ、近況を交えて病院の沿革、体制、取組みについて述べてくださいました。現在建築中の屋上ヘリポートを備えた新救命救急センターの運用開始や、平成 25年度に完成予定の宮崎—延岡間高速道路への期待などが込められています。

18ページ

お知らせ 「新春随想」原稿募集

平成 25年 1, 2 月号に毎年恒例の「新春随想」欄を企画しています。医事評論、診療閑話、身辺雑記、詩歌、俳句などなんでも結構です。詳細を本誌 45ページに掲載していますので奮ってご応募ください。たくさんの方々のご寄稿を、広報委員一同心よりお待ちしております。

45ページ

診療メモ 学校における運動器検診の役割と実際

宮崎大学整形外科科学教室の積極的な取組みにより、宮崎県では 200年度から「学校運動器検診」を実施しています。目的は小児の運動器疾患や傷害の予防により児童・生徒の心身の健全な発達を促進させることであり、結果的に将来的なメタボリックシンドロームやロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に繋がることが期待されます。宮崎県における検診の方法やその流れについて、検診実績や問題点を踏まえながら解説していただきました。

72ページ

日 州 医 事 第 759号 (平成 24年 11月号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101番地 0985-22-5118(代) FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail office@iyazakimedor.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副 委 員 長 上野 満, 黒川 基樹

委 員 篠原 立大, 姫路 大輔, 薮内 悠貴, 湯浅美紗子

釜付 弘志, 沖田 和久, 大野 妙子, 前田 雄洋, 陣門 洋平

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 青木 洋子, 荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収しております)